

新たな「北陸圏広域地方計画」 【説明資料】

平成28年3月
北陸圏広域地方計画推進室

1. 新たな「北陸圏広域地方計画」の構成	1
2. はじめに	3
3. 北陸圏の現状と課題	5
4. 計画の体系	7
5. 北陸圏の将来像	9
6. 新しい将来像実現に向けた目標・戦略	11
7. 広域連携プロジェクト	17
8. 隣接圏域との交流・連携	34

1. 新たな「北陸圏広域地方計画」の構成

1. 新たな「北陸圏広域地方計画」の構成

はじめに

北陸圏広域地方計画改定に当たっての社会経済情勢の変化を記載しています。

北陸圏の現状と課題

北陸圏の現状の特徴や人口減少・高齢化等への対応等、今後の課題を記載しています。

計画の体系

北陸圏広域地方計画の将来像からそれを実現するための目標・戦略や広域連携プロジェクトの体系を示しています。

北陸圏の将来像

北陸圏が目指す生活面、産業面からみた2つの将来像を示しています。

新しい将来像実現に向けた目標・戦略

将来像実現に向けて、分野別に取り組む目標と施策等戦略を示しています。

広域連携プロジェクト

目標・戦略達成をけん引する広域的に多様な機関が連携して取り組むプロジェクトを示しています。

隣接圏域との交流・連携

北陸圏と隣接する中部圏等隣接圏・県と連携して取り組むべきプロジェクトを示しています。

2. はじめに

計画策定から5年

- ・北陸圏広域地方計画は平成21年8月に策定
- ・北陸圏は「暮らしやすさ」「環日本海の中核拠点」として着実に前進（平成26年度中間評価）
- ・急激な人口減少、巨大災害の切迫とリスク対応など、我が国土に係る大きな変化への対応が急務
- ・国土のグランドデザイン2050（平成26年7月 国土交通省）
- ・国土形成計画（平成27年8月）
「対流型国土」
「コンパクト＋ネットワーク」

「新しい10年」を見据えて

～北陸圏を取り巻く大きな変化への対応～

2015 (H27).3 北陸新幹線（長野～金沢）開業

2020 (H32) 東京オリンピック・パラリンピック

2023 (H35) 北陸新幹線（金沢～敦賀）開業

2027 (H39) リニア中央新幹線（東京～名古屋）開業

首都直下地震・南海トラフ地震の発生確率高まり

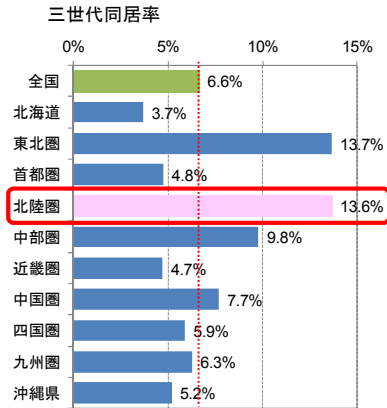
新たな「北陸圏広域地方計画」の策定へ

3. 北陸圏の現状と課題

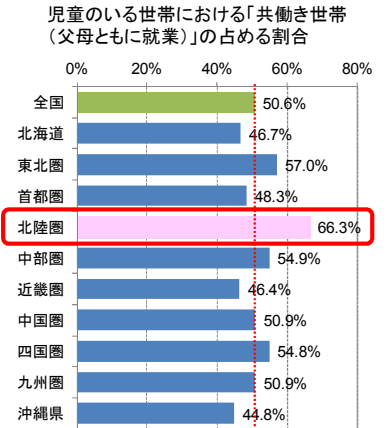
3. 北陸圏の現状と課題

① 地域コミュニティの強さや経済的ゆとりで子育てしやすい女性の社会参加がしやすい優れた生活環境

■ 高い三世代同居率



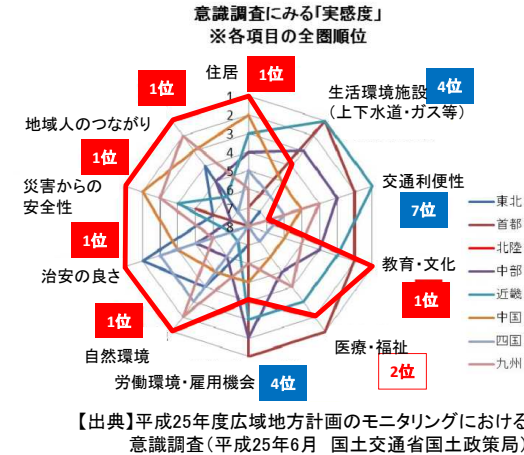
■ 子育てしながら共働き



【出典】平成25年 国民生活基礎調査

② 多様で個性ある都市の利便性と農山漁村のゆとりを身近に享受できる優れた居住環境

■ 住みやすさについての高い評価



③ 3,000m級の山岳から日本海に至る地形変化の中、風水害や土砂災害、豪雪等の厳しさを有する反面、多様な生態系と健全な水環境系を育む豊かな自然環境

■ 豊かな自然環境

富山湾から望む立山連峰



【出典】富山県HP

⑥ 自然、歴史、農林水産業、食文化、ものづくり等豊富な資源を活かした雪国ならではの生活の知恵が複合した独自で多様性のある文化

■ 多彩な歴史・文化遺産

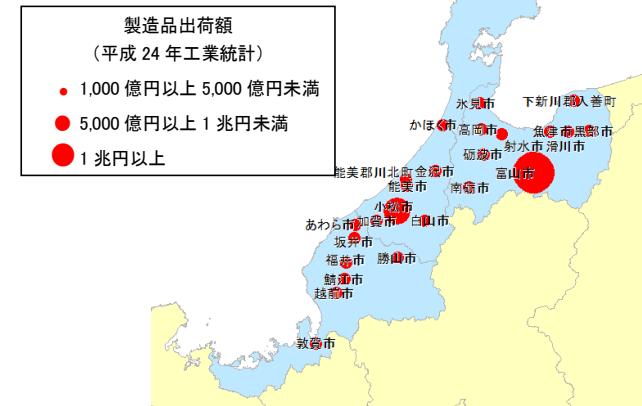
熊川宿（重要伝統的建造物群保存地区）



【出典】若狭鯖街道熊川宿HP

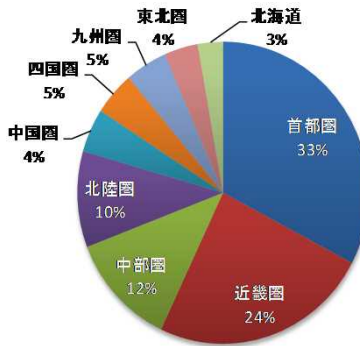
④ 伝統産業から先端産業まで日本海側有数の特徴ある世界レベルの工業集積等、多様な産業の集積

■ 製造品出荷額の多い都市の接続



■ 多数の世界ニッチトップ企業

グローバルニッチトップ企業100選に選ばれた北陸圏の企業



⑤ 三大都市圏に近接し環日本海諸国を始めとする東アジアに対するアクセスの優位性

■ 地理的優位性



課題

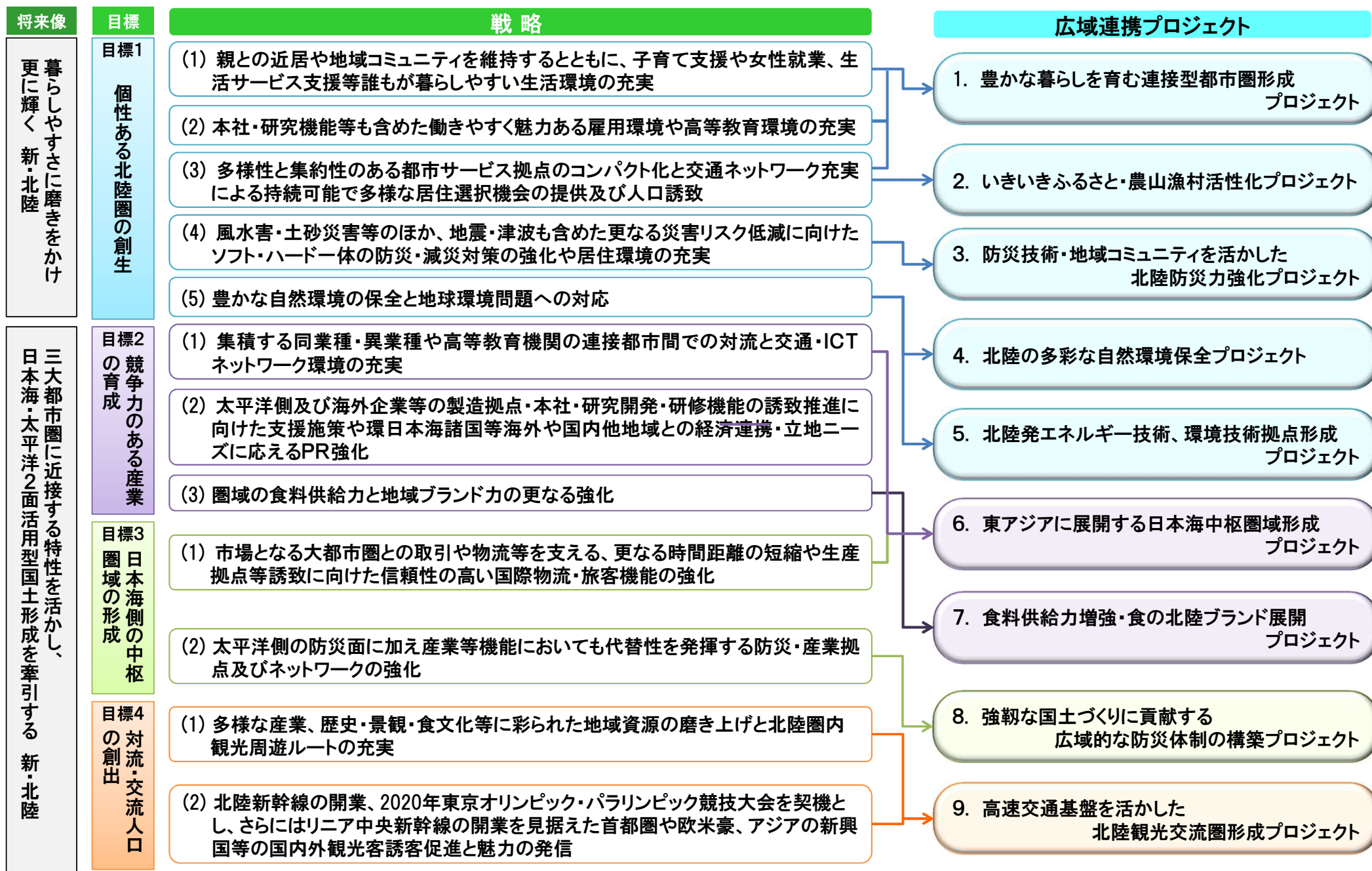
- ① 子育てしながら共働きできるライフスタイルの維持・向上
- ② 少子化の進行及び若い世代の人口流出に歯止めをかける、雇用環境の充実
- ③ 厳しい自然環境の中でも安全・安心で快適な生活レベルの維持・向上

- ④ 接続する都市群と半島や中山間地域の共生
- ⑤ 地理的優位性と北陸ブランド力を活かした産業・営農の強化
- ⑥ 太平洋側の災害リスクの高まりに伴う本社機能移転等への積極的な対応
- ⑦ 優れた観光資源を活かした国内外誘致のための取組

4. 計画の体系

4. 計画の体系

北陸圏の将来像を実現するための4つの目標と12の戦略の達成を効率的に推進するとともに、早期かつ相乗的に達成効果を発現、波及させていくため、北陸圏広域地方計画協議会の構成機関等が広域的に連携・協力して以下の9つのプロジェクトに取り組んでいく。



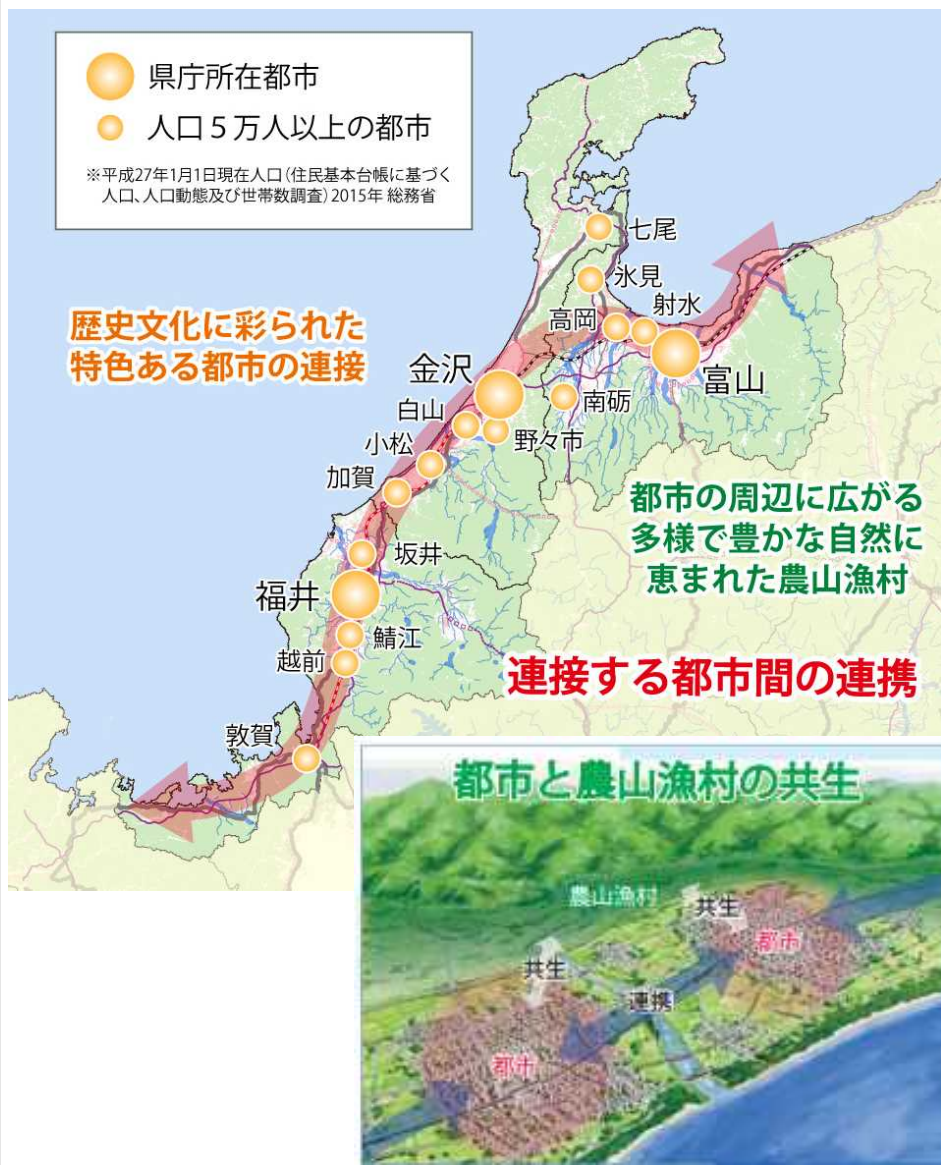
5. 北陸圏の将来像

5. 北陸圏の将来像

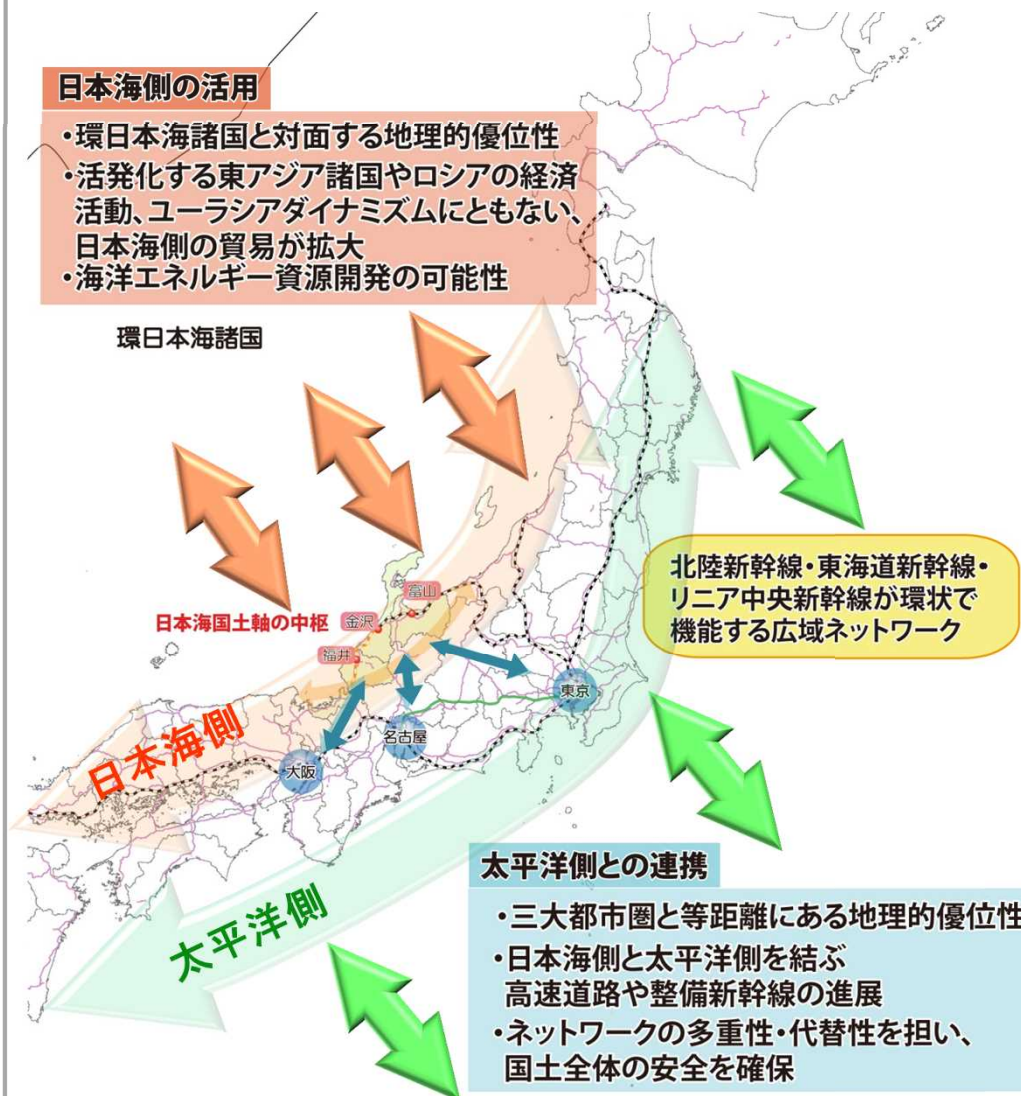
1. 暮らしやすさに磨きをかけ更に輝く 新・北陸

2. 三大都市圏に近接する特性を活かし、日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引する 新・北陸

■ 接続型都市形成イメージ



■ 日本海・太平洋2面活用型国土形成を牽引



6. 新しい将来像実現に向けた目標・戦略

6. 新しい将来像実現に向けた目標・戦略

目標1 個性ある北陸圏の創生 ～更なる安全・安心、環境豊かな暮らしの充実、コンパクト+ネットワーク～①

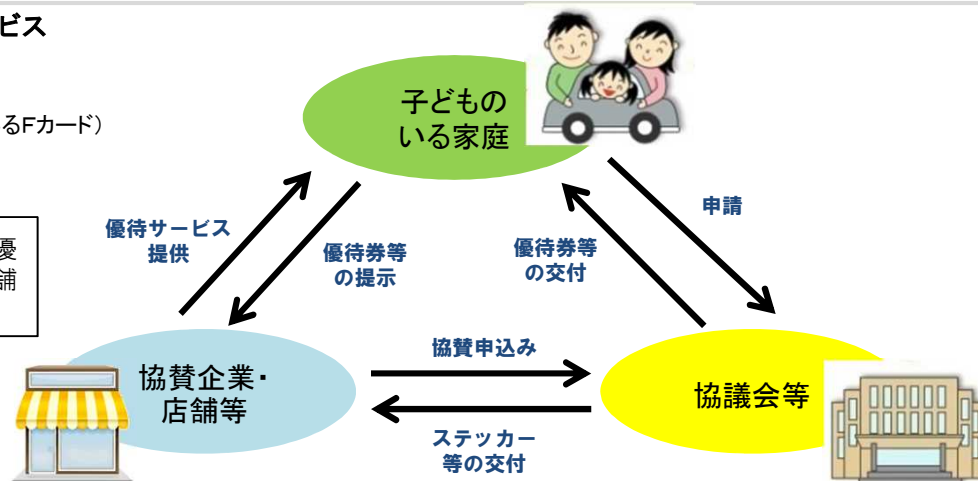
(1) 親との近居や地域コミュニティを維持するとともに、子育て支援や女性就業、生活サービス支援、犯罪や事故のないまちづくり等、誰もが暮らしやすい生活環境の充実

●充実した子育て等生活支援サービス

▼子育て支援の仕組みづくり

福井県：ママ・ファースト運動(すまいるFカード)
石川県：プレミアム・パスポート
富山県：とやま子育て応援団

18歳未満の子どもがいる家庭が優待券等を使い、県内協賛企業・店舗等で優待サービスを受ける仕組み。



▼福井県：新ふくい3人っ子応援プロジェクト

18歳未満の子どもが3人以上いる家庭で、3人目以降の3歳未満の子を対象に、以下のサービス利用料が無料。

- 保育所の保育料
- 保育所等での一時預かりまたは一定期間の預かりの利用料
- NPO法人等が実施する一時的な預かり・送迎・家事支援の利用料
- 病気療養中や病気回復期にあるお子さんの一時的な預かりの利用料

(2) 本社・研究機能等も含めた働きやすく魅力ある雇用環境や高等教育環境の充実

●魅力ある雇用環境の創出

▼石川県：大学コンソーシアム

石川県内の全ての高等教育機関が連携し以下を目的に設立。
・高等教育の充実・発展
・地域社会の学術・文化・産業の発展



●UIターン支援

▼石川県：県内への就職・転職相談窓口

UIターンサポートステーションを三大都市圏に配置。
・相談員による応対
・県内企業情報提供
・就職活動サポート活動 等



6. 新しい将来像実現に向けた目標・戦略

目標1 個性ある北陸圏の創生 ～更なる安全・安心、環境豊かな暮らしの充実、コンパクト＋ネットワーク～②

(3) 多様性と集約性のある都市サービス拠点のコンパクト化と交通ネットワーク充実による持続可能で多様な居住選択機会の提供及び人口誘致

●コンパクト＋ネットワークで更に住みよい北陸へ

▼富山市のコンパクトなまちづくりの推進

LRTや頻度の多いバス路線を基幹的な公共交通軸として、その周辺への住宅整備助成や居住支援等で居住を誘導。



【出典】国土交通省HP

●インフラマネジメントの構築

計画的な点検や修繕等の取組を実施するためのインフラのメンテナンスサイクルの構築・継続・発展。



助成を受け建設された共同住宅



●個性ある農山漁村

▼石川県：能登の里山里海

世界農業遺産認定(平成23年6月)をきっかけに能登半島全体の情報発信の場としてポータルサイトを立ち上げ。



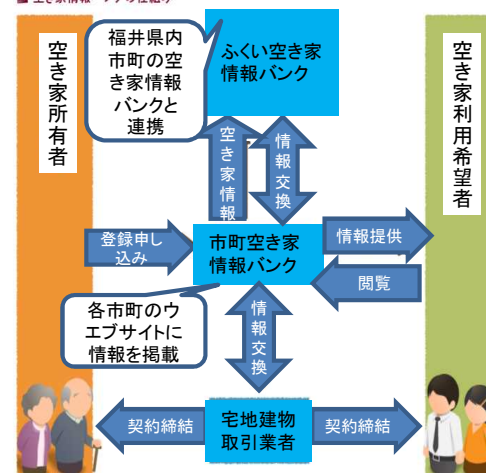
【出典】世界農業遺産「能登の里山里海」情報ポータルサイト

●移住支援

▼福井県：ふくい空き家情報バンク

福井県への移住・定住、二地域居住、一戸建てへの住み替えを希望する人に、空き家情報を紹介するポータルサイトの立ち上げ。

□ 空き家情報バンクの仕組み



【出典】福井県HP

(4) 風水害・土砂災害等のほか、地震・津波も含めた更なる災害リスク低減に向けたソフト・ハード一体の防災・減災対策の強化や居住環境の充実

●防災の取り組み

▼TEC-FORCE(緊急災害派遣隊)の派遣

大規模自然災害発生時や予見される際、地方自治体の要請により、迅速に出動し、被災状況の把握、被害の発生・拡大の防止、災害応急対策への技術的な支援を実施。



平成25年8月台風18号 福井県小浜市 被災状況調査



平成25年8月台風18号 小浜土木事務所へ被害報告書提出

(5) 豊かな自然環境の保全と地球環境問題への対応

●自然環境保全

▼福井県：里山里海湖研究所

「SATOYAMAイニシアティブ」の定例会合の福井県開催を契機に研究者等との地域共働での研究、教育、実践を行う研究施設として設立。



【出典】福井県里山里海湖研究所HP

▼富山県：立山・黒部地域の環境保全

国立公園内の美観保持、健全なリクリエーションの場の維持のため、清掃活動やバトロール、登山道整備や植生保護等を実施。



【出典】富山県HP

6. 新しい将来像実現に向けた目標・戦略

目標2 競争力のある産業の育成 ～北陸のものづくり産業や農林水産業の一層の活性化～

(1) 集積する同業種・異業種や高等教育機関の連接都市間での対流と交通・ICTネットワーク環境の充実

●イノベーションによる新産業の事例

▼北陸ライフサイエンスクラスター

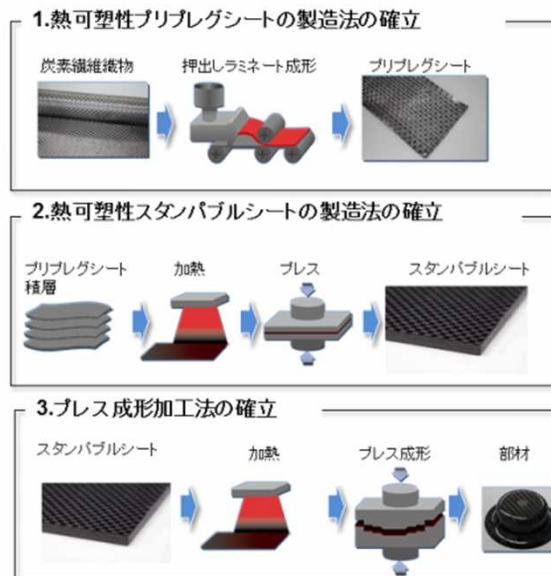
バイオ医薬品や機能性食品、医療機器分野における取組を推進。
(文部科学省の知的クラスター創成事業)



【出典】北陸ライフサイエンスクラスター 事業紹介パンフレット

▼石川県:いしかわ炭素繊維クラスター

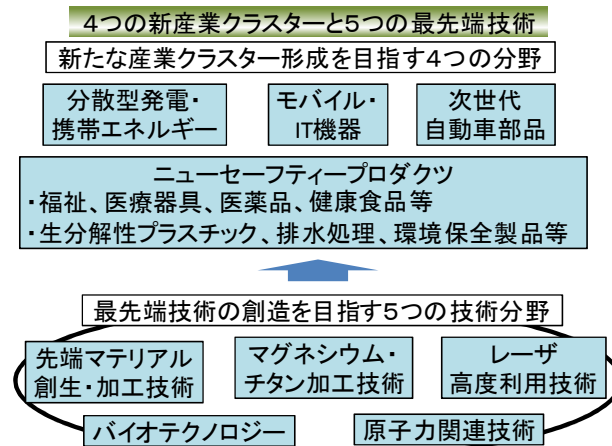
航空機や自動車等で活用の進む「炭素繊維複合材料」の一大生産拠点化を推進。



【出典】(公財)石川県産業創出支援機構HP

▼福井県:繊維新素材開発における産学官連携

福井県内の最先端の技術分野を発展させ、新たな産業クラスターを形成。



【出典】科学技術振興機構HP
「産学官連携ジャーナル」2009年7月号

(2) 太平洋側及び海外企業等の製造拠点・本社・研究開発・研修機能の誘致推進に向けた支援施策や環日本海諸国等海外や国内他地域との経済連携・立地ニーズに応えるPR強化

●世界トップシェアを誇る産業界の国際的なイベント等の事例

▼富山県:国際コンベンション開催可能な施設やコンベンション開催の補助等の活用

富山国際会議場等施設の活用や、コンベンション開催事業補助金制度等を活用し、国際的な会議・イベントを誘致。



【出典】富山国際会議場 大手町フォーラムHP

(3) 圏域の食料供給力と地域ブランド力の更なる強化

●農業6次化の事例

▼ハトムギの6次産業化(富山県氷見市)

がんの予防効果や美肌効果が見込める「ハトムギエキス」を開発するなど「はとむぎ茶」の商品化・ブランド化を推進。



【出典】JA氷見市
氷見はとむぎ物語HP

6. 新しい将来像実現に向けた目標・戦略

目標3 日本海側の中枢圏域の形成 ～日本海沿岸地域の連携強化と太平洋側との連携強化～

(1) 市場となる大都市圏との取引や物流等を支える、更なる時間距離の短縮や生産拠点等誘致に向けた信頼性の高い国際物流・旅客機能の強化

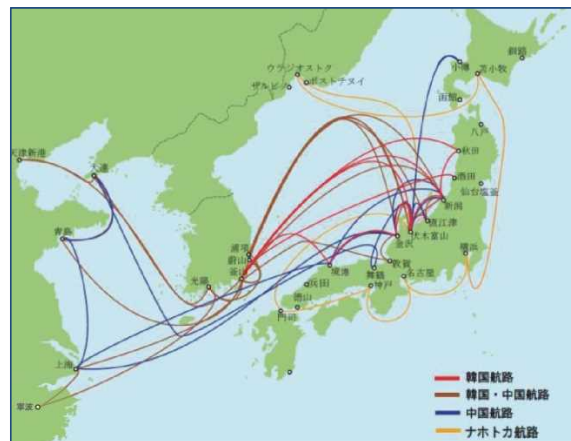
●物流・旅客機能の強化に必要となる社会基盤整備

三大都市圏や東アジア等国内外物流及び旅客流動を支える新幹線、高規格幹線道路、港湾・空港の機能強化により、産業活動面で信頼性の高い交通環境を形成。



●東アジアに向けて優位な位置にある北陸

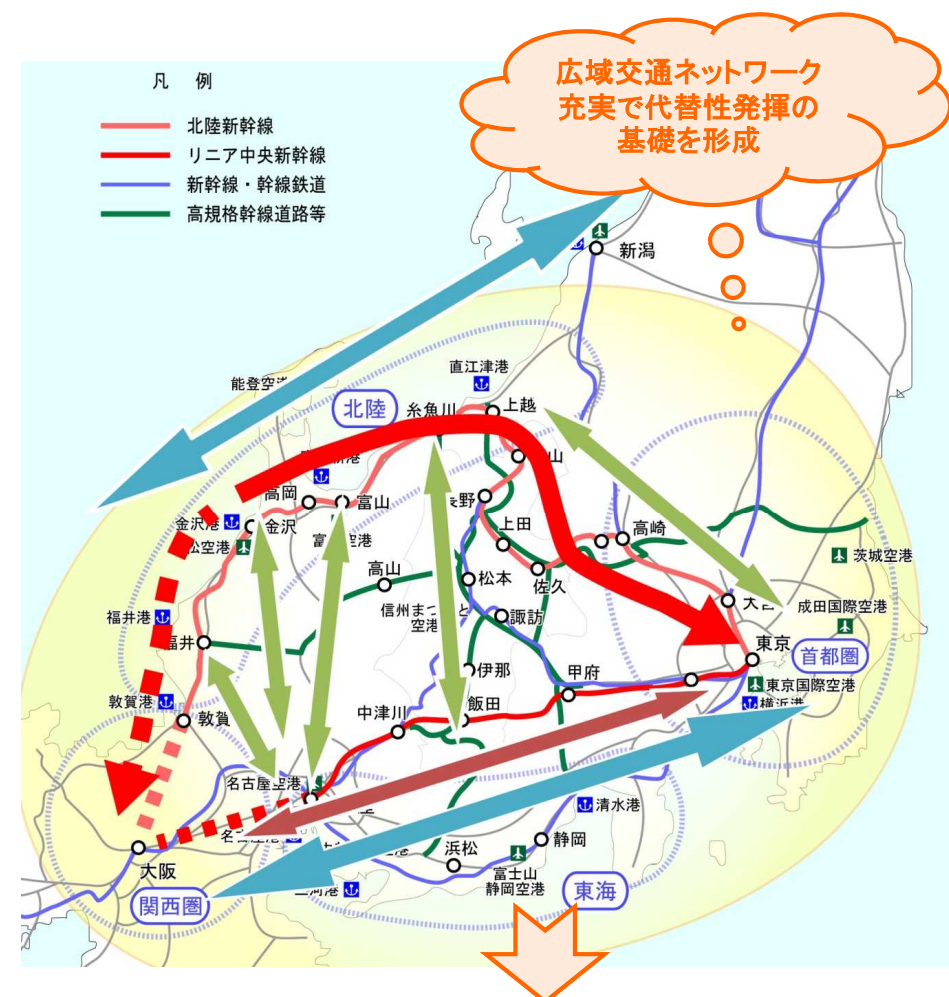
東アジアに向けた地理的優位性を活かした、中国や韓国、ロシア等に向けた船舶航路の充実。



(2) 太平洋側の防災面に加え産業等機能においても代替性を発揮する防災・産業拠点及びネットワークの強化

●太平洋側と日本海側の連携強化による代替性の確保

中央リニア新幹線や北陸新幹線、日本海側と太平洋側をつなぐ高規格幹線道路の整備等産業・防災拠点間の広域交通ネットワークを充実。



産業・防災拠点の形成に向けて取り組むことで、太平洋側の大災害時に代替機能を発揮

6. 新しい将来像実現に向けた目標・戦略

目標4 対流・交流人口の創出 ～北陸の魅力を活かした国内外との対流・交流の創出～

(1) 多様な産業、歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ルート of 充実

●豊富な地域資源を磨き上げ、魅力ある観光地を創出

自然、歴史・文化等の優れた地域資源を活かした世界遺産登録に向けた活動等を通じて、観光地の知名度を向上。

立山・黒部 防災大国日本のモデル信仰・砂防・発電



【出典】富山県HP

城下町金沢の文化遺産群と文化的景観



【出典】金沢市HP

若狭の社寺建造物群と文化的景観



【出典】小浜市HP

(2) 北陸新幹線の開業、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とし、さらにはリニア中央新幹線の開業を見据えた首都圏や欧米豪、アジアの新興国等の国内外観光客誘客促進と魅力の発信

●北陸新幹線等広域ネットワークの整備により、国内外観光客誘致に向けた多様な観光ルートを構築

伏木富山港伏木地区 クルーズ船



【出典】富山県



金沢港 クルーズ船(飛鳥Ⅱ)



三大都市圏や海外観光客誘致に向けた多様な観光ルートを創出

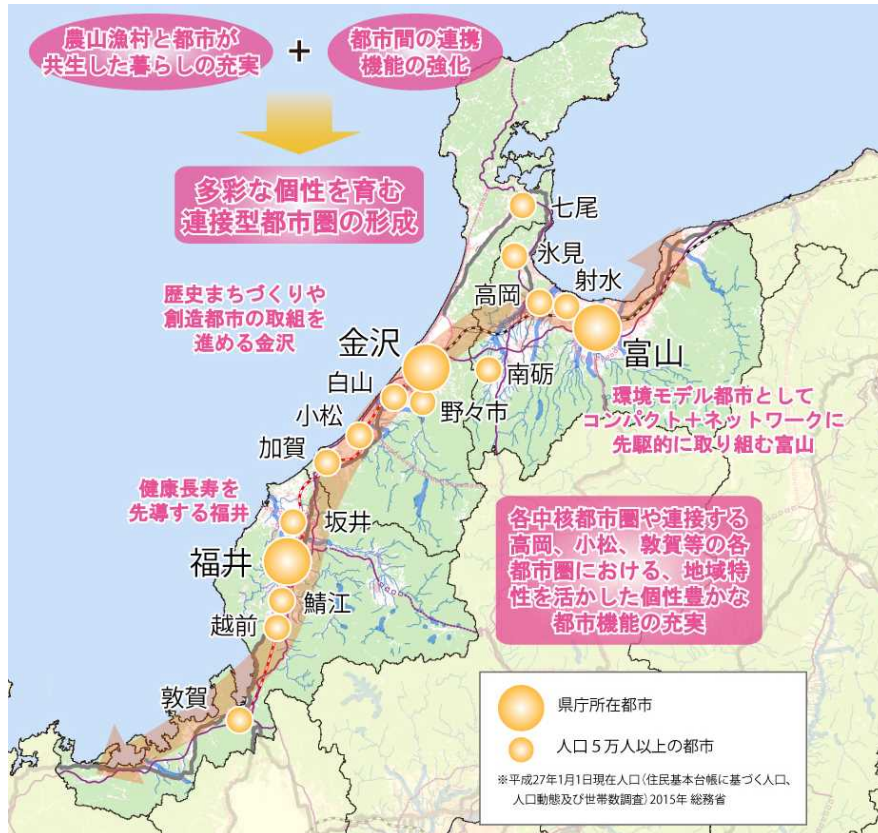
7. 広域連携プロジェクト

1. 豊かな暮らしを育む連接型都市圏形成プロジェクト (1/2)

目的 コンセプト

美しい自然と豊かな農山漁村に囲まれた個性ある都市圏の暮らしの質を高め、北陸新幹線の開業も契機としつつ、**連接型都市圏を形成**

(1) 住環境や子育て環境にも恵まれた个性的でコンパクトな都市圏の形成による暮らしの質の向上

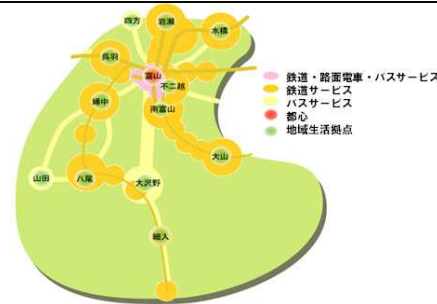


個性豊かでコンパクトな都市圏の形成

◇コンパクト+ネットワークを活用したまちづくり

▼富山市が目指す都市構造概念図 【出典】富山市HP

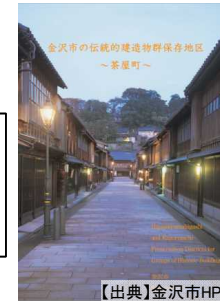
LRT等を公共交通軸(串)とし、その軸上に都市拠点(団子)を配置する都市構造の構築。



◇地域特性を活かした個性豊かな都市機能の充実

▼金沢市の歴史まちづくり

歴史上価値の高い建造物やまちなみと、人々の生活や伝統文化が一体となったまちづくり。



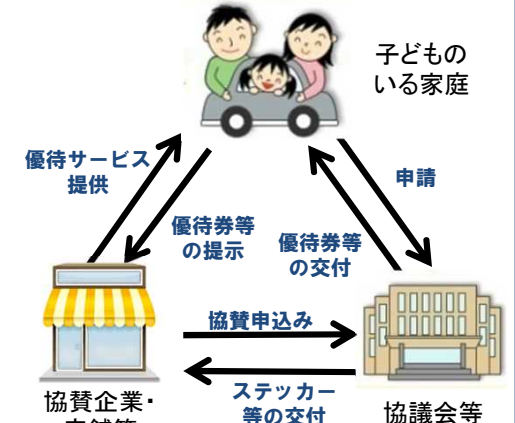
【出典】金沢市HP

子育てを支援するワークライフバランスのとれた豊かな地域づくり

◇育児時間にも配慮した就業環境の充実等、行政と企業の協力体制の整備

- ▼ママ・ファースト運動(すまいるFカード)(福井県)
- ▼プレミアム・パスポート(石川県)
- ▼とやま子育て応援団(富山県)

18歳未満の子どもがいる家庭が優待券等を使い、県内協賛企業・店舗等で優待サービスを受ける仕組み。



医療・福祉サービスの充実

◇先進的医療施設の有効活用

▼陽子線がん治療センター

正常組織に影響なくがん病巣を取り除く陽子線治療の新しいシステムを導入。



【出典】福井県立病院HP

◇スマートウェルネス住宅・シティの形成

▼スマートウェルネス住宅等推進の取組

サービス付き高齢者向け住宅や住宅団地等における併設施設の整備。



『特定有料老人ホームみらい鞍月』

「スマートウェルネス住宅等推進モデル事業」北陸初採択(石川県)

【出典】映寿会みらい病院HP

教育サービスの充実と安心して子どもを育てることのできるまちづくり

◇子どもの視点に立ったまちづくり

▼キッズデザイン「子どものまち」づくり(福井県)

子供の目線で安全・安心に遊び、学べる環境を市民・行政等の共働でつくりあげる取組。



子どもの視点でまちを再点検

【出典】福井県

◇地域の特徴的な教育環境の充実

▼サイエンス(理数)教育の充実(福井県)

小中高等学校の理数科への基礎力と実践力、子供の興味を向上。



ふくいスーパーサイエンスフォーラムでの実験

【出典】全国知事会HP

1. 豊かな暮らしを育む連接型都市圏形成プロジェクト (2/2)

(2) 近接する都市圏相互の魅力を楽しむことができる 連接型都市圏の形成

都市間の連携機能の強化

◇広域交通機能の強化

- ▼地域高規格道路の整備
(富山高岡連絡道路)



二地域居住、定住促進に向けた暮らしやすさを伝える地域ブランドの情報発信

◇北陸の暮らしやすさを発信し、「田舎探し」を支援

- ▼暮らしやすさ日本一の北陸地域ブランドの確立と魅力の発信

富山県、石川県、福井県の3県への移住をサポートする、移住者の事例や移住した際のライフスタイル情報を提供するポータルサイトの開設。



【出典】北陸経済連合会 北陸イメージアップ推進会議HP

若年層の定住、UIJ ターンの受入促進

◇北陸圏外の大学等に進学した学生のUIJターンの促進

- ▼ふるさと就職フェアいしかわ

県内外大学へ進学した石川県出身学生の県内企業への就職促進に向けた出会いの場を提供。



【出典】石川県人材育成推進機構HP

- ▼ふるさと福井移住定住促進機構による移住・定住のワンストップ支援体制

都市圏在住者のU・Iターン促進に向けて、県と市町共同で移住者の相談と応援体制を整備。



【移住相談】



【就活女子応援員による就職のアドバイス】

【出典】ふるさと福井移住定住促進機構HP

(3) 個性ある都市圏の連携を強化するネットワークの形成

職住に便利な公共交通を核とした地域づくり

◇都市拠点への公共交通の利便性向上

- ▼富山駅南北接続事業

新幹線開業を契機に、富山駅高架下に市内電車の乗り入れと停留所を開設。



【出典】富山市HP

◇都市交通環境改善への取組強化

- ▼環状道路やバイパスの整備
(金沢外環状道路)



都市部の渋滞解消等を目的とした道路整備の推進。

北陸新幹線開業を契機とした都市圏ネットワークの充実

◇まちなかの賑わいづくり

- ▼新幹線駅整備と併せた市街地整備

新幹線開業を契機に、富山駅南北アクセス向上に資するJR高山本線等の高架化や、金沢駅周辺の高度利用に向けた市街地再開発等を推進。

富山駅付近
連続立体
交差事業



【出典】富山市HP

金沢駅武蔵地区 市街地再開発事業



【出典】石川県HP

(4) 公共施設の計画的な管理

- ▼港湾施設の老朽化対策

老朽化が進む港湾施設の点検診断等を行い、予防保全となる維持補修を実施。



舗装に亀裂が生じた岸壁



対策を実施した岸壁

- ▼道路の老朽化対策

計画的な点検や修繕等の取組を実施するためのインフラのメンテナンスサイクルの構築・継続・発展。



2. いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト（1/2）

目的 コンセプト

農山漁村で安心して暮らせる環境づくりと、都市と農山漁村との交流拡大を通じた農山漁村地域の経済の活性化

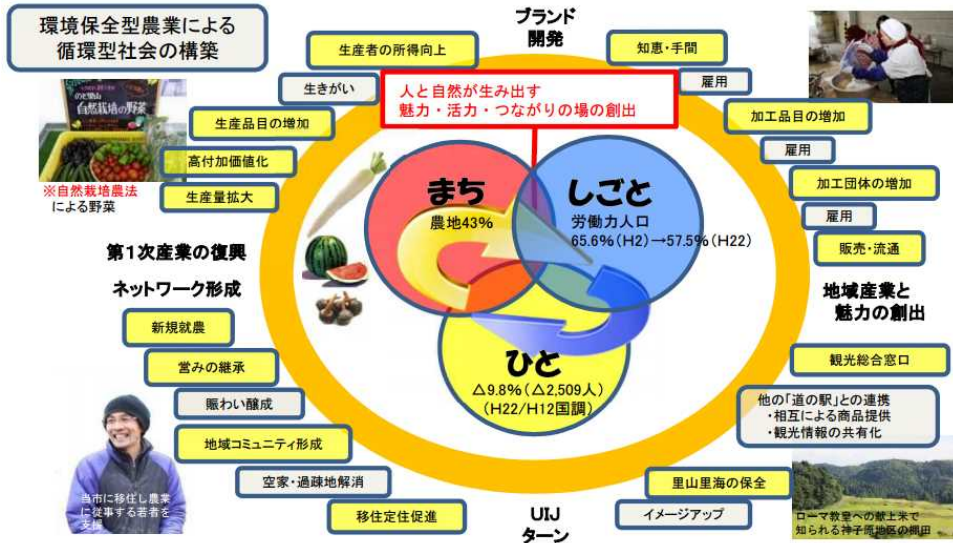
（1）農山漁村の活性化

福祉サービス充実等集落機能の再生・維持・強化

◇「小さな拠点」及び拠点と周辺集落のネットワークの形成

▼「道の駅」を活用し、地域活性化の拠点とする取組（道の駅「仮称」はくい）

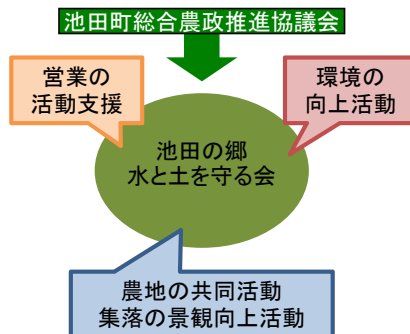
自然栽培農法の普及とブランド化・6次産業化と一体となった道の駅「仮称」はくいを核とした農産物販売等観光交流拠点を整備。



◇農業・農村の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動を支援

▼活動組織の広域化の取組（福井県池田町）
（多面的機能支払交付金の活用）

農業・農村の持つ多面的機能を維持・発揮するための地域の共同活動を推進。



【出典】北陸農政局 多面的機能支払交付金事例発表会資料

◇地域の公共交通の活性化・再生につながる事業の推進

▼乗合制のデマンドタクシー（射水市）

予約制の乗合タクシーと路線バスを組み合わせ高齢者の足を確保。



【出典】射水市HP

◇双方向型ICT（情報通信技術）を活用した医療・福祉サービス提供体制の構築

▼地域光ファイバ収容空間整備状況

国の管理する河川・道路管理用光ファイバを遠隔医療等活用が期待される電気通信事業者等に開放する取組。

【出典】国土交通省HPより作成



野生鳥獣の被害防止対策の強化

◇中山間地域等における営農意欲の減退につながる野生鳥獣被害を防止

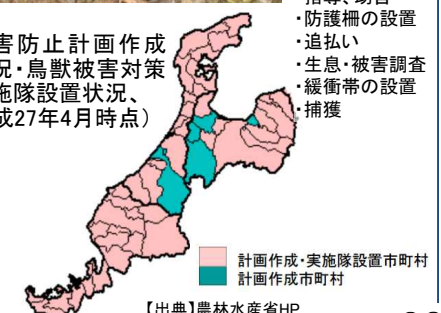
▼野生鳥獣の被害防止に向けた地域の取組（鳥獣被害対策実施隊）

市町村は被害防止計画を立案し隊員を任命した上で、鳥獣の捕獲や防護柵等設置対策を実施。



（被害防止計画作成状況・鳥獣被害対策実施隊設置状況、平成27年4月時点）

- <活動例>
- ・指導、助言
 - ・防護柵の設置
 - ・追払い
 - ・生息・被害調査
 - ・緩衝帯の設置
 - ・捕獲



【出典】農林水産省HP

2. いきいきふるさと・農山漁村活性化プロジェクト(2/2)

里地里山や里海の保全と林業の再生

◇関係機関が連携した里山里海の保全活動

▼能登半島里山里海自然学校

金沢大学が三井物産環境基金の支援を受けて設置した里山や里海の保全と再生、体験活動等の拠点。



【組織イメージ】



【出典】
能登半島里山里海自然学校HP

◇農林漁業に関連した「祭り」、「伝統文化」、「景観」等の保全・復活

▼白米千枚田の保全の取組(輪島市)

稲作作業手伝いや収穫米の特典を受ける白米千枚田オーナー制度。



【出典】輪島市HP

◇森林ボランティア活動への支援

▼とやまの森づくりサポートセンターの活動(富山県)

森づくりへの新たな団体の設立や個人、企業等の参加を支援。



【出典】とやまの森づくりサポートセンターHP

▼市民と企業の森づくり活動の推進(金沢市)

「森づくり条例」に基づき、市域の各所に「企業の森」の設置を推進。



【出典】金沢市HP

(2) 都市と農山漁村の地域間交流と連携の促進による地域経済の活性化

都市と農山漁村との交流拡大

◇子どもたちの体験交流の促進

▼子ども農山漁村交流プロジェクト

農山漁村での小学校の長期宿泊体験活動を推進。



【出典】北陸農政局

◇グリーンツーリズムの推進

▼農林漁業体験民宿を核とした取組

農山漁村の体験交流活動を行う宿泊施設の登録を推進。



【出典】北陸農政局

◇都市部と農山漁村部の交流を支える広域交通ネットワークの強化

▼高規格幹線道路・地域高規格道路等の整備

金沢や富山・高岡等と能登の観光交流を支える能越自動車道等の整備。



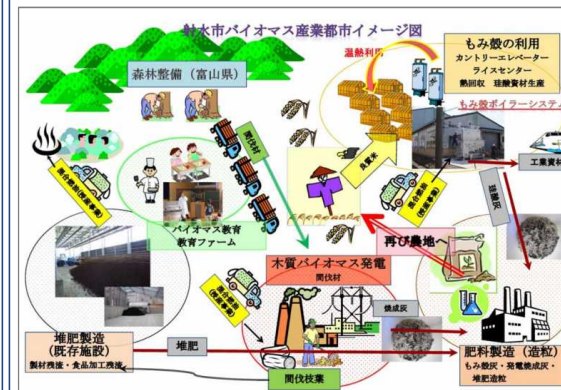
【出典】国土交通省

未利用資源の利活用

◇木質バイオマスを活用した産業化の促進

▼射水市のバイオマス産業都市構想

廃材や間伐材、もみ殻、食品残さ等によるバイオマス発電や、堆肥・肥料等へのリサイクル利用で地域の新たな産業を創出。



【出典】射水市バイオマス産業都市構想(概要版)、射水市

農林水産業への新規就業の促進

◇農業経営に意欲的な地域の企業等の農業参入の促進

▼企業の園芸支援事業(福井県)

園芸経営をめざす農業法人や、露地・施設園芸、植物工場等で農業へ参入する企業を支援。



【出典】福井県HP

3. 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト(1/2)

目的 コンセプト

北陸圏が抱える厳しい自然条件や、地球温暖化にともなう気候変動、異常気象の増加等の災害要因に対する防災力を強化

(1) 防災技術の蓄積を活かした災害に強い地域づくり

冬季の降積雪や風浪等への対策強化

◇海岸侵食対策の充実

▼海岸侵食対策(富山県東部の下新川海岸)

富山湾特有の”寄り回り波”という高波による災害から人命・財産の防護や海岸侵食を防止。



新型離岸堤



新型突堤

◇波浪監視の高度化

▼波浪観測高度化の取組 (富山湾における光ファイバー網を活用した監視)

CCTV網等を活用した高波発生の予測精度の向上。



CCTVカメラ



北陸地方整備局災害対策室

【一級河川水系・水系砂防指定地 及びXバンドレーダエリア】

下新川海岸高波災害
(下新川海岸、H20)



富山湾特有の寄り
回り波という高波が
もたらした甚大な被
害への対応



風水害・土砂災害等への対策強化

◇治水対策の推進

▼黒部川における縦工による急流河川対策

急流河川特有の土砂を多く含んだ洪水から堤防を守る、洗掘・侵食対策。



◇土砂災害対策の推進

▼甚之助谷地区 地すべり対策

地すべり発生での天然ダム形成・決壊による下流への甚大な被害の防止対策を実施。



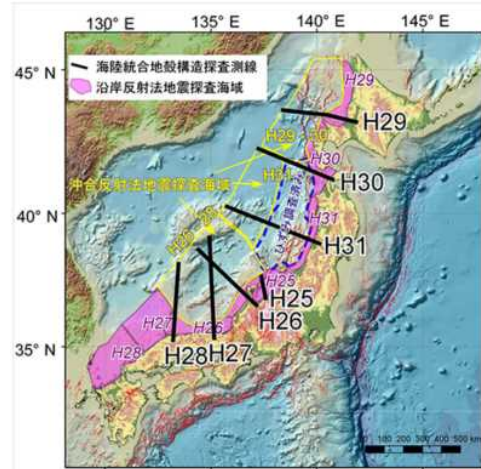
3. 防災技術・地域コミュニティを活かした北陸防災力強化プロジェクト(2/2)

日本海沿岸域を震源とする地震対策の強化

◇日本海沿岸の海底活断層調査と被害予測研究の実施

▼日本海地震・津波調査プロジェクトの実施
(日本海沿岸地域の活断層調査)

日本海側の地震・津波対策に資する観測データ等基礎資料の収集。



◇地震対策の推進

▼耐震強化岸壁の整備(伏木地区)

国際物流ターミナルの中心的施設である既設岸壁(水深-14m)の耐震強化。



調査区域の年次計画

【出典】日本海地震・津波調査プロジェクトHP(東京大学)

災害リスクの評価・共有に基づく防災・減災対策の強化

◇土砂災害に関する情報発信

市民の迅速な避難に資する雨量及び土砂災害発生危険性のリアルタイムな情報更新・発信。

▼早期自主避難や避難勧告等の発令支援の取組
(石川県土砂災害情報システム SABOアイ)

防災先進社会に貢献する土砂災害や豪雪等対策の防災技術の高度化

◇ロボットやセンサー等を駆使した、防災・減災、メンテナンス等におけるイノベーションを創出

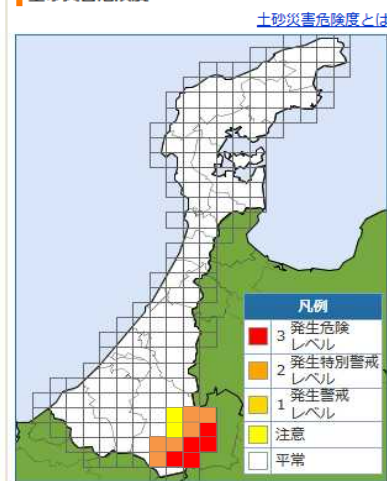
危険な場所での土木作業維持管理等作業の効率化に向けたロボットやICT技術の積極活用。

(ドローン等による3次元測量)



【出典】国土交通省HP

土砂災害危険度



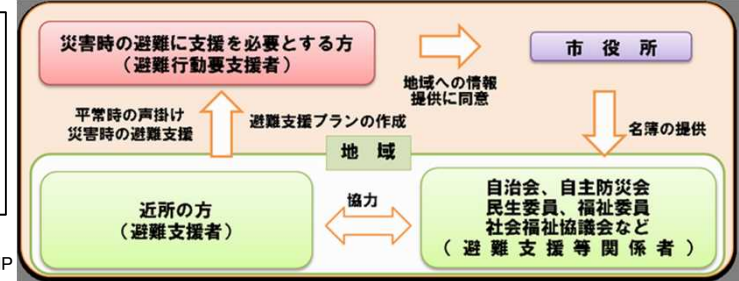
【出典】石川県土砂災害情報システム SABOアイHP

(2) 地域コミュニティを活かした地域防災体制の強化

◇避難行動要支援者への支援

▼避難行動要支援者避難支援制度 (福井市)

地域への情報提供に同意された方の情報を地域の関係者へ提供し、平常時から災害時避難の支援体制を整える制度。

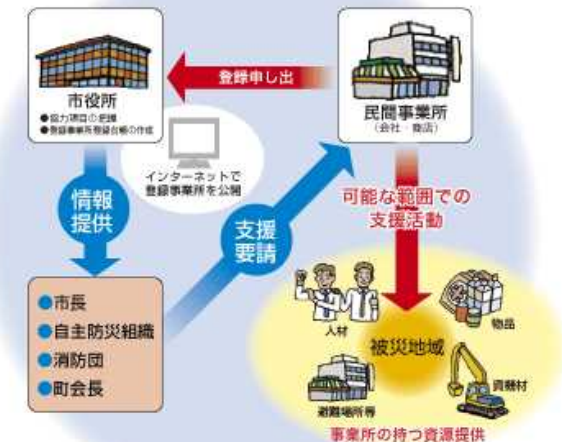


【出典】福井市HP

◇地域の自主防災体制を強化する行政、地域組織、民間事業者の連携強化

▼かなざわ災害時等協力事業所登録制度

防災活動にボランティアとして協力する事業所の登録制度。
(登録内容: 人材や物品協力、避難所施設の提供等)



▼帰宅困難者支援に関する協定を民間事業者と締結
(富山県、石川県)

帰宅困難者に対して、水道水、トイレ、道路情報等を提供する事業者と行政との協定締結。

【出典】富山県HP

▼自主防災組織主体の避難所運営訓練

防災総合訓練の一環として、自主防災組織が中心となった避難所運営の訓練。



【出典】石川県HP

▼防災出前講座

地域住民の依頼により公民館等で、防災の行政担当者が防災の学習会を開催。



【出典】金沢市HP

4. 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト (1/2)

目的 コンセプト

北陸圏のシンボルである立山・黒部や白山等の豊かな自然環境や豊富な水を育む水源かん養機能の保全と、北陸の美しい白砂青松の海岸環境の次世代への継承

(1) 立山・黒部や白山等山岳地域の自然環境保全

山岳地域の自然環境の保全

◇広域的な参加型管理運営体制の構築

▼環白山地域の産官学民の連携による保全管理活動

環白山地域の保全と調和、持続可能な地域振興に資する調査研究や事業等を継続的に実施。



環白山地域の産官学民の知恵が重なるラウンドテーブル

【出典】環白山保護利用管理協会HP

自然環境保全に関する意識啓発

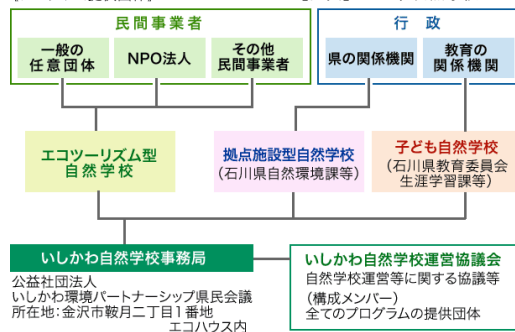
◇民間と行政等が一体となった体験学習プログラムの構築等自然保護活動の啓発

▼いしかわ自然学校

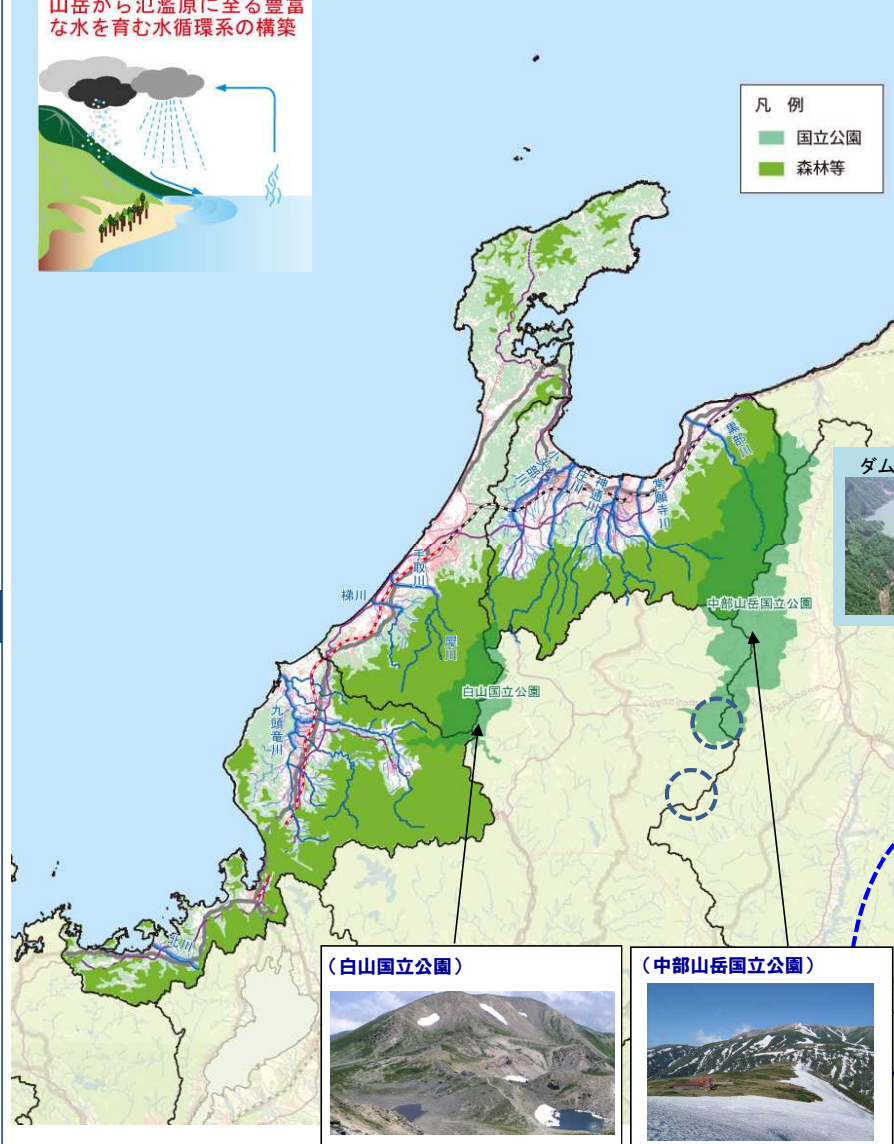
石川県の豊かな自然をフィールドとした自然体験プログラムを提供する行政と民間の連携ネットワーク。

《プログラム提供団体》

【出典】いしかわ自然学校HP



【北陸の豊かな自然環境と水の恵み】



【写真出典】環境省HP

美しい山岳地域の自然環境の保全

水系一貫における水循環の維持又は回復

◇流域一体での総合的な治山治水対策

▼手取川の治山・治水

流域の上流から下流まで一体で取り組む治山と治水、海岸保全対策を推進。



◇多分野が連携した自然再生への取組

▼神通川自然再生計画

魚道整備などサクラマス等の生息環境の再生を県・漁協・地域協働で推進。



4. 北陸の多彩な自然環境保全プロジェクト (2/2)

(2) 日本海沿岸地域の環境保全

海岸景観の保全・再生

◇海岸環境の保全・回復

▼千里浜再生プロジェクト(押水羽咋海岸保全事業)

土砂投入・砂流出防止工・人工リーフ等による砂浜の保全。



【出典】石川県HP

◇漂流・漂着ごみ削減

▼クリーン・ビーチいしかわによる清掃活動

環境ボランティアとして石川県の海岸清掃活動を展開。



【出典】クリーン・ビーチいしかわHP

野生生物の生態系ネットワークの保全

◇人々の生活と共生して維持されてきた貴重な湿地の保全

▼三方五湖の自然再生の取組

福井県及び若狭町・美浜町で協議会を設立し、ラムサール条約湿地としての自然環境の保全活動を実施。



水田魚道の設置



田んぼの生き物調査

【出典】三方五湖自然再生全体構想

◇鳥獣保護区の維持管理や外来生物の防除による生物多様性の保全

▼生物多様性保全に関する施策の推進(立山に侵入した外来種(シロツメクサ))

立山に侵入、繁茂しているシロツメクサやオオバコ等の除去活動。



【出典】富山県生物多様性保全推進プラン

大型クラゲ、黄砂、酸性雨等の環境問題解決への取組強化

◇各国と協調した海洋環境保全に関する調査研究の推進

▼NPEC(環日本海環境協力センター)による沿岸環境調査や環境評価手法の開発

日本、中国、韓国、ロシアの4カ国で取り組む、北西太平洋地域海行動計画(NOWPAP)に基づく日本海の環境影響調査。



【出典】環日本海環境協力センターHP

【北陸の宝、美しい白砂青松の海と貴重な湿地】

日本海沿岸で顕在化する環境問題

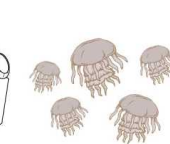
酸性雨



漂流・漂着ゴミ



大型クラゲ



舢倉島・セツ島周辺沿岸

凡 例

- 白砂青松100選
- ラムサール条約湿地
- 重要な湿地



片野鴨池



三方五湖



立山弥陀ヶ原・大日平



中池見湿原

【写真出典】環境省HP

5. 北陸発エネルギー技術、環境技術拠点形成プロジェクト

目的 コンセプト

原子力及びエネルギー分野の最先端技術の集積を活かして、エネルギー技術と環境技術の集積拠点を形成

最先端エネルギー分野の新技术開発と新事業の創出

◇若狭湾エネルギー研究センターを核とした産学官共同研究等、原子力及びエネルギー関連技術の地域産業への普及促進

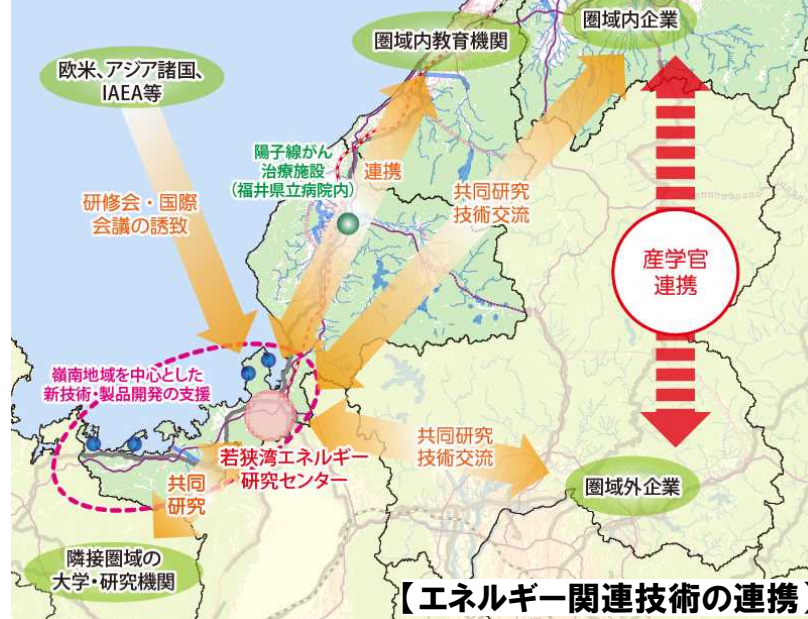
▼先端的な研究の推進

国、自治体、大学、産業界一体となったエネルギーの総合的な研究開発拠点形成。



【出典】若狭湾エネルギー研究センターHP

原子力及びエネルギー関連技術の地域産業への普及を促進



◇再生可能エネルギーの活用によるエネルギーの地産地消等のサブシステム型エネルギーシステムの構築

▼木質バイオマスエネルギー等の普及

間伐材や林地残材等のペレット加工によるバイオマスエネルギー等の普及促進。



木質ペレット



木質ペレット製造施設【出典】富山市HP

▼小水力発電の導入促進（南砺市）

冬期間使用しない農業用水を活用した小水力発電。



【出典】北陸農政局

環境にやさしい暮らしの普及・定着

◇環境にやさしい暮らしの推進

事業者と県民双方の努力でレジ袋を削減。

▼とやまエコ・ストア制度

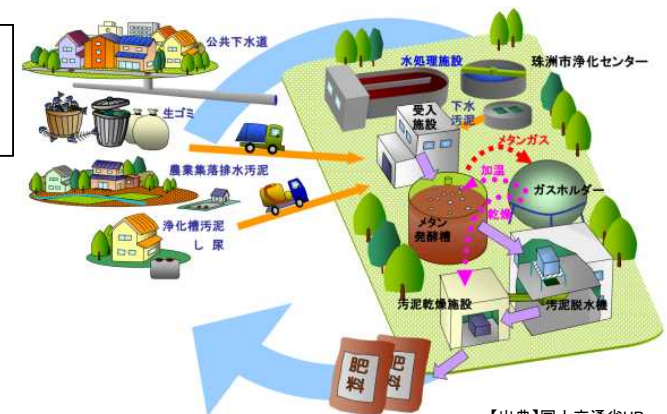
- | | |
|--------|-----------|
| 事業者の取組 | 県民の取組 |
| ・レジ袋削減 | ・マイバックの持参 |
| ・3R推進 | ・資源物の持込 |
| ・低炭素化 | ・他 |

【出典】富山県HP

◇下水汚泥・下水熱等の有効活用

下水汚泥やし尿、生ごみ等のバイオマスメタン発酵によるボイラー利用と汚泥の肥料化。

珠洲市・バイオマスエネルギー推進プラン



【出典】国土交通省HP

6. 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト（1/2）

目的 コンセプト

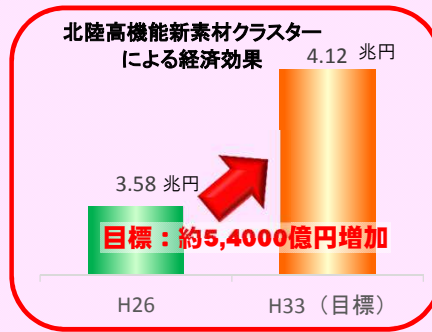
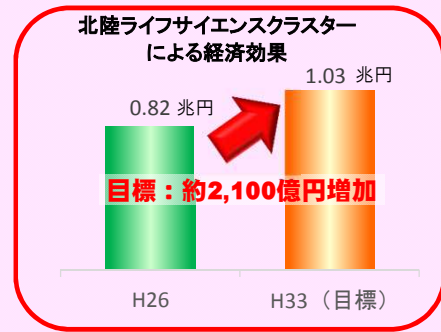
地理的な優位性と日本海沿岸有数のものづくり集積を活かして、日本海側の産業・物流の中枢拠点機能を強化

（１）日本海沿岸地域有数のものづくり集積を活かした産業の国際競争力の強化

医薬、繊維等の地域産業を牽引する産業クラスターの形成

目標値の設定

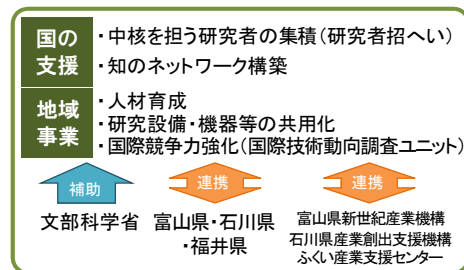
※ここでの経済効果は製造品出荷額に加え、3県への経済波及効果の推計値も含む
【出典】地域再生計画（北陸産業競争力強化戦略（富山県、石川県、福井県））



◇ライフサイエンス産業の一大集積地化

▼北陸ライフサイエンスクラスター

「広汎性発達障害」や「認知症」、「がんや生活習慣病」等の疾病を対象にバイオ医薬品や機能性食品、医療機器分野の取組を推進。

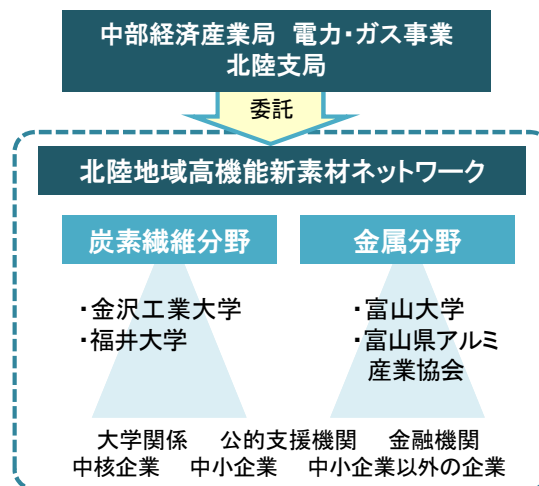


【出典】一般財団法人北陸産業活性化センターHP

◇高機能新素材産業の一大集積地化

▼北陸高機能新素材クラスター構想

東海地方の自動車等関連産業と連携し高機能新素材（炭素繊維複合材料、マグネシウム・チタン等の軽金属材料、ナノ材料）分野の一大集積地を形成。



【出典】北陸産業競争力強化戦略

北陸圏の産業ニーズを踏まえた人材育成・人材確保及び産学官や異分野連携等による中小企業の活性化

◇伝統産業に従事する人材の確保・育成

▼伝統工芸職人塾（福井県）

伝統的工芸品の後継者を養成する研修講座。

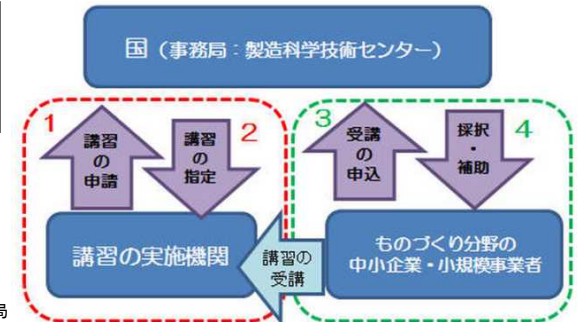


【出典】鯖江商工会議所HP

◇ものづくり現場の人材育成

▼ものづくり中核人材の育成支援

中小企業のものづくり技術・技能の継承・向上等を支援。

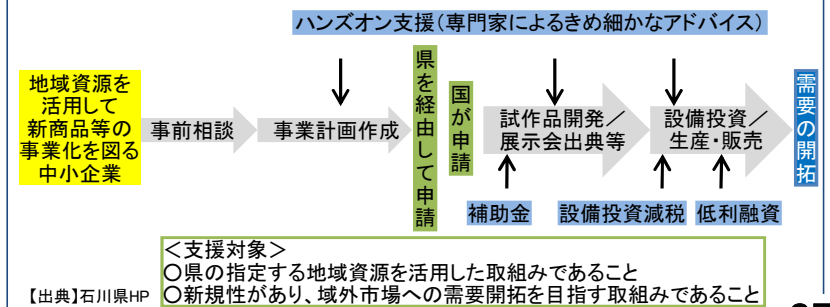


【出典】中部経済産業局

◇地域資源を活用した新事業展開の支援

▼産業化資源活用プログラムの推進

地域資源活用による新商品等の事業化にする様々な支援策の実施。



6. 東アジアに展開する日本海中枢圏域形成プロジェクト (2/2)

(2) 三大都市圏との近接性を活かし、環日本海諸国に展開する国際物流機能の強化と企業誘致の一体的な推進

広域的な産業連携を通じた国際物流機能の強化

◇国際物流ターミナル等の機能強化

▼伏木富山港(新湊地区)
多目的国際ターミナル整備

船舶の大型化対応や毎年の埋没浚渫の軽減のため、岸壁(-14m)を中心的施設とする外港整備を行う事業。



国際物流機能を活かした環日本海交流の中核となる企業誘致

◇北陸圏域の港湾の港湾関連用地への港湾活用型企業誘致

▼港湾活用型企業の誘致及び集積の取組
(金沢港 大浜国際物流ターミナル整備事業)

大型船の入港が可能となり、物流の効率化による輸送コストの縮減が図られることで、産業誘致に貢献。



荷主に信頼される物流ネットワークの構築

◇北陸圏域の港湾と集荷圏を結ぶ信頼性の高い物流ネットワークの充実

▼伏木富山港臨港道路(新湊大橋)

臨港地区東西を結ぶとともに最寄り国道415号へのアクセス時間を短縮。



◇広域交通等やICTの充実、安全・安心の充実による認知度の向上

▼リアルタイム映像等雪みち情報の提供

安全で確実な冬期道路交通の確保に向けて、降雪、除雪等の情報を提供。



【出典】石川県HP

【環日本海諸国に展開する国際物流】



7. 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト (1/2)

目的 コンセプト

良好な営農条件の確保による圏域の食料供給力の強化と、高品質な「北陸ブランド」の構築

(1) 食料供給力の強化

良好な営農条件の確保

◇農業用水の安定的供給や排水機能の回復

▼国営かんがい排水事業(九頭竜川下流域)

九頭竜川からの開水路のパイプライン化により、維持管理の軽減と、周辺地域への用水の安定供給に貢献。



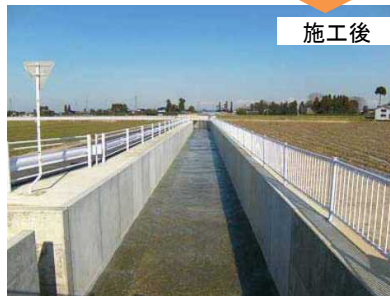
【出典】福井県HP

▼国営総合農地防災事業(庄川左岸地域)

地区内の排水機能の回復に向けた排水路の新設及び改修。



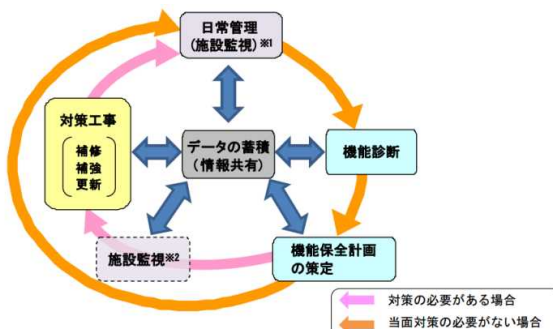
施工前



施工後

【出典】北陸農政局HP

ストックマネジメントのサイクル



【出典】「農業水利施設におけるストックマネジメントの取組について」(農林水産省)

◇担い手への農地の集積・集約化

▼担い手への農地集積・集約化を促進するための支援(農地中間管理事業)

農地を貸したい農家から、農地中間管理機構が借受け、意欲ある担い手に貸し付ける事業。



【出典】富山県HP

◇農地・農業用水等の適切な保全管理や荒廃農地の発生防止・解消、湛水被害防止の推進

▼農業的利用が可能な荒廃農地の解消(みどりの農地再生利用事業)

農地所有者以外の農業者又は農業者団体等に賃借した農振農用地内の耕作放棄地の農地再生作業や用排水路等施設の整備を支援。



雑草除去作業



耕起作業



耕起完了後

【出典】富山県HP

農林水産業の担い手の育成

◇担い手の経営発展段階に応じた支援の推進 ◇青年層の新規就農を促進するための支援

▼経営所得安定対策等の着実な推進

販売価格が生産費を恒常的に下回る作物を対象に、その差額を交付。

▼農業の担い手育成研修

農業を担う青年層育成に向けた農業研修。

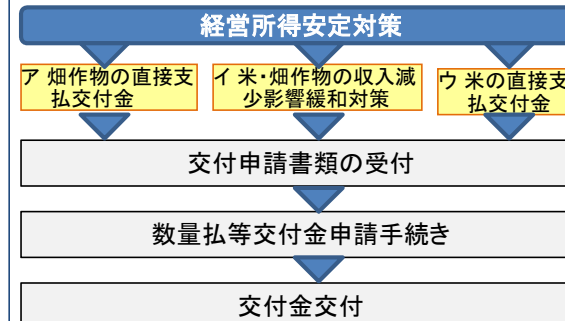


通年研修の概要

- ・座学講義(基礎知識・栽培技術・関連知識)
- ・作物実習(13作物・9農家等)
- ・機械演習(機械操作実習・各種資格取得等)

短期研修の概要

- ・栽培技術(水稻・大麦・大豆・野菜・果樹・花き)
- ・管理技術(土壌肥料・病害虫防除等)
- ・農業経営(経営戦略等)
- ・農業政策(国や県の農業政策)



【出典】農林水産省HP

【出典】とやま農業未来カレッジHP

7. 食料供給力増強・食の北陸ブランド展開プロジェクト (2/2)

(2) 「北陸ブランド」構築と国内外への流通・販路網の開拓・拡充

「北陸ブランド」の構築

◇農林水産物や加工食品の地域ブランド力の強化

▼ふるさと食品認証制度(石川県ふるさと認証食品)

地元の農林水産物を原材料とする加工食品や伝統技法を用いた加工食品で、県がその品質や表示について一定基準に適合していることを認証している食品。

石川県ふるさと認証食品

いいものには「認証マーク」



【出典】石川県HP



ふるさと食品認証マーク

◇北陸圏の3県の連携による食材の発掘と情報提供

▼北陸の食に関する情報発信

北陸の伝統的な加工技術で製造された食材や料理等を紹介するホームページ。



【出典】北陸イメージアップ推進会議HP

◇農商工連携の促進等による異業種間の英知を結集した食の「北陸ブランド」の確立

▼加賀野菜等を使用したフリーズドライタイプの雑炊

加賀野菜等を使用した新商品の開発や異分野での販路開拓。

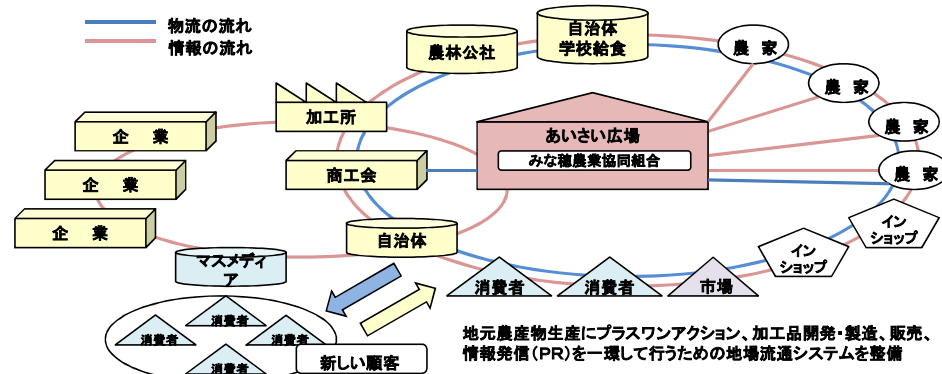


【出典】農林水産省HP

◇6次産業化による農林漁業と他産業のバリューチェーン形成

▼みな穂農業協同組合の地場産流通システム整備事業

農産物の生果直売、加工品開発と作物生産調整、流通管理、情報提供等を総合的に行う仕組みを整備。



【出典】「北陸の6次産業化取組事例」(北陸農政局)を参考に作成

国内外に展開する流通・販路網の開拓・拡充

◇国内外への販路拡大の取組

▼首都圏のアンテナショップ

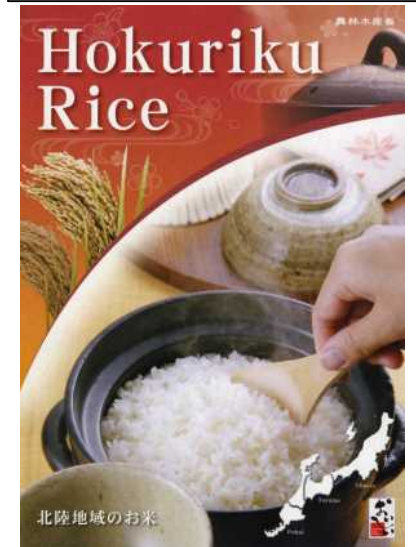
富山県、石川県、福井県の食材や食品の販売を行い、知名度向上を図る取組。



【出典】いしかわ百万石物語 江戸本店HP

▼輸出促進対策事業(外国人向けチラシ)

北陸地域のお米を紹介する英語版と中国語版のパンフレット。



【出典】北陸農政局HP

地産地消の推進

◇優良事例紹介による普及促進

▼地産地消優良活動の表彰

農林水産業の6次産業化につながる直売・加工等を通した「地産地消」の取組を表彰する制度。



平成25年度 地産地消優良活動表彰

全国地産地消推進協議会 会長賞

JAくろべ 女性部 富山県黒部市(くろべ)

「食は命、子は宝」～豊かな農村環境や農村の暮らしを後世に伝える～

【出典】北陸農政局

◇道の駅等を活用した農林水産物直売や生産出荷体制の構築

▼「道の駅」の活用促進

(「道の駅みくに」の農産物直売所)

道の駅で地元の新鮮な農産物等の直販を行うことで地域振興に貢献。



【出典】ふれあいパーク三里浜HP

8. 強靱な国土づくりに貢献する広域的な防災体制の構築プロジェクト

目的 コンセプト

平常時は広域連携。災害時は復旧復興支援に向けて、広域的な防災支援対策を推進

防災ネットワークの構築

◇広域的な防災支援対策の推進

▼北陸地域国際物流戦略チーム構成の物流機関と連携した防災訓練

大災害に備えた物流関連機関の連携による代替輸送訓練。



▼TEC-FORCEの派遣

大規模自然災害発生時、地方自治体の要請で実施する災害応急対策に対する技術的な支援。



▼災害対策用資機材情報の共有化

防災センターや関係機関保有の災害対策用資機材情報の共有により、災害時の迅速な派遣を実現。



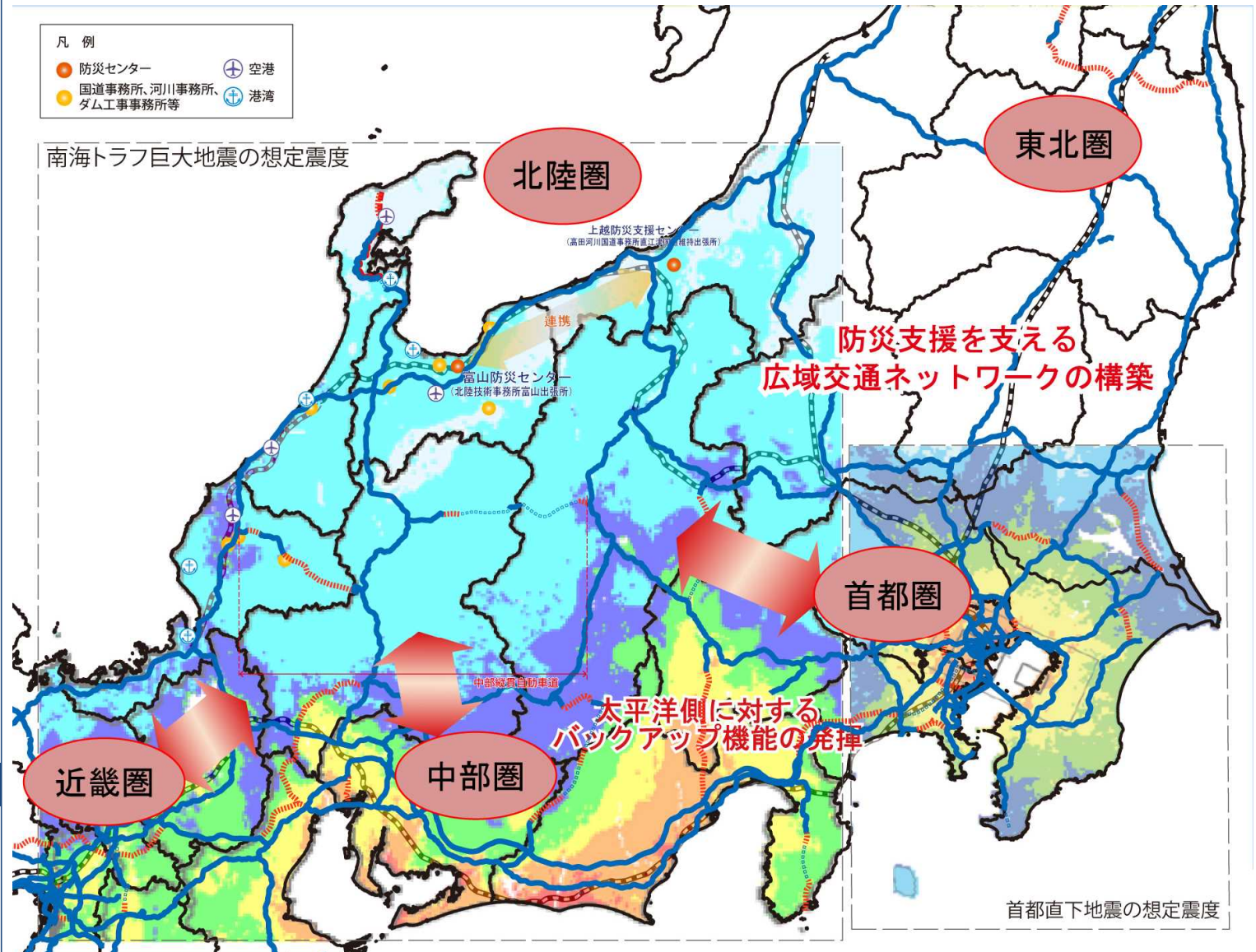
リダンダンシーの確保

◇緊急輸送を担う陸海空一体の交通ネットワークの構築

▼高規格幹線道路網の充実



【広域的な防災支援の展開イメージ】



【出典】「南海トラフの巨大地震モデル検討会(第二次報告)追加資料」(内閣府 平成24年8月29日公表)及び「首都直下地震防災・減災特別プロジェクトにおける震度分布図」(文部科学省 平成24年3月20日公表)をもとに北陸地方整備局作成

9. 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト (1/2)

目的 コンセプト

北陸圏の優れた地域資源及び北陸新幹線等により充実する広域・高速交通ネットワークを最大限活用し、国内外観光客の増加による地域を活性化

(1) 地域の連携強化による満足度の高い魅力ある観光地域づくり

地域資源を活かした観光拠点の形成

◇個性ある地域資源を活かした観光地の形成

▼石川県都市公園の整備
(金沢城公園)

金沢城の再現等により
シンボル公園を整備。



【出典】石川県HP

▼ダイノソーバレー構想

恐竜をテーマとした博
物館や化石発掘体験
等による地域の魅力
づくり。



【出典】福井県HP

▼輪島港の海洋クルーズ
船の拠点整備

クルーズ船の誘致等
に向けたマリンタウン
プロジェクト事業の推進。



【出典】石川県

▼交流拠点の形成
(みなとオアシス魚津)

蟹気楼鑑賞や地元産
品販売の朝市により、
賑わいを創出。



【観光広域連携の状況】

＜世界遺産登録に向けた関係地域の連携した取組＞

- 1 立山・黒部～防災大国日本のモデル
—信仰・砂防・発電—
- 2 霊峰白山と山麓の文化的景観
—自然・生業・信仰—
- 3 近世高岡の文化遺産群
- 4 城下町金沢の文化遺産群と文化的景観
- 5 若狭の社寺建造物群と文化的景観



【出典】石川県HP



【出典】小浜市HP

＜隣接圏の連携＞

- ・北陸新幹線停車駅都市観光推進会議
- ・環白山広域観光推進協議会
- ・北アルプスゴールデンルート広域観光推進協議会
- ・「善仲・巴」広域連携推進会議
- ・中部山岳広域観光推進協議会 等

＜圏域内での連携＞

- ・越中にいかわ観光圏
- ・ぶり街道推進協議会
- ・福井坂井奥越広域観光圏

＜世界文化遺産＞

白川郷・五箇山の合掌造り集落



【出典】南砺市HP

旅行者が何度も訪れたい新たな観光形態の創出

◇新しい観光スタイルの創出

▼自然環境とふれあい、学ぶグリーンツーリズム
(里山里海体験ツアー)

地元自治体と民間事業者、地域づくり団体等
が連携し、奥能登ならではの体験観光メ
ニューを企画・実施。



【出典】奥能登ウェルカムプロジェクトHP

▼生活文化や地元の人々等とのふれあいを楽しむ観光(商店街での「語り部処」の取組)

商店等で働く人々が語り部となり観光客とふ
れあう観光スタイルの提供。

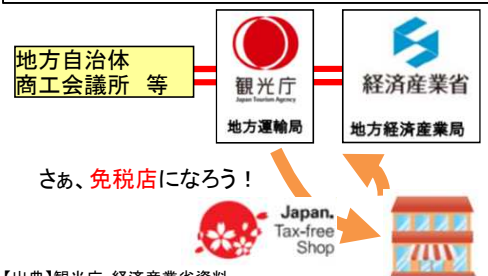


石川県七尾市

【出典】北陸信越運輸局

▼消費税免税制度拡充を契機としたショッピングツ
ーリズム

地域ブランドの浸透や日本文化体験プログラ
ム参加促進で外国人観光客の消費額を増加。



【出典】観光庁・経済産業省資料

国内外観光客の利便性の向上に向けた受入環境づくり

◇北陸新幹線駅や空港・港湾等との交通結節点とリンクした鉄道網やバス網等の交通ネットワークの強化

▼二次交通アクセスの強化

新幹線等からの観光客
を観光地に引き込む観
光ツアーバス等の強化。

ぶりやカニ等食事とセットと
なった富山ぶりにバス



【出典】富山地方鉄道HP

五箇山や白川郷等世界
遺産を巡る世界遺産バス



【出典】加越能バスHP

まちなかシャトル



【出典】金沢市HP

加賀周遊バス キャンパス



【出典】加賀周遊バスキャンパスHP

9. 高速交通基盤を活かした北陸観光交流圏形成プロジェクト (2/2)

(2) 国内外観光客の戦略的な誘客拡大

多様な広域観光ルートの実現及びこれを支える広域交通基盤の強化

◇テーマ性・ストーリー性を有する魅力ある観光地域のネットワーク化による広域観光ルートの形成

▼テーマ性のある広域観光ルートの提案

北陸新幹線開業を契機に、北陸圏の産学官が連携し、広域観光のモデルコースとして取りまとめ、情報発信。

北陸物語

福井・石川・富山を彩る5つの物語と11の広域観光モデルコース vol.01

「北陸物語」の発刊について

第一章 伝統産業が息づく古き町

- モデルコース① 今に受け継がれる北陸の伝統工芸・伝統文化を堪能
- モデルコース② 北陸の歴史あるものづくりを体験!
- モデルコース③ 地域に根づくものづくり産業を家族みんなで学ぶ旅

第二章 戦国乱世を強く生きた姫たち

- モデルコース① 戦国の姫たちの暮らしを偲ぶ
- モデルコース② 大河ドラマ「江〜姫たちの戦国〜」、「利家とまつ」ゆかりの地を巡る

第三章 信仰が息づく暮らし

- モデルコース① 信仰が息づく暮らしを肌で感じる
- モデルコース② 生活にとけ込んだ仏教行事に楽しみながら親しむ

第四章 自然と人が織りなす心象的な雪景色

- モデルコース① 雪景色の自然と戯れる雪国ならではの休日満喫!
- モデルコース② めつたに出会えない感動の冬景色を撮る

第五章 北陸の暮らしに根づく奇祭

- モデルコース① 田の神まつり「あえのこと」と能登の文化にふれる
- モデルコース② 無病息災を祈願する「すりばちやいと」と神秘的祭り「お水送り」

【出典】北陸経済連合会 北陸イメージアップ推進会議HP

◇広域観光ルート構築に向けた連携を支える広域交通基盤の強化



▼高規格幹線道路の整備
(東海北陸自動車道)



【出典】: iHighwayHP

(舞鶴若狭自動車道)



【出典】NEXCO中日本HP

▼地域高規格道路の整備
(富山高山連絡道路)



▼金沢港に入港するクルーズ船



【出典】金沢港振興協会HP

広域連携による認知度向上及び誘客プロモーションの強化

◇北陸新幹線開業を契機とした、北陸圏一体での戦略的な三大都市圏向け誘客プロモーションの推進

▼デスティネーションキャンペーン

地元自治体・観光関係団体等とJRグループが協力による日本最大規模の観光キャンペーン。

Japanese Beauty Hokuriku : 5つの美をテーマに展開

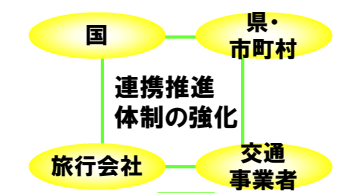


【出典】北陸経済連合会 北陸イメージアップ推進会議HP

観光交流活発化のための連携推進体制の強化

◇北陸の観光交流を戦略的に推進する民間と行政等の連携推進体制の強化

北陸圏全体の観光を推進する国、地方自治体、旅行会社、交通事業者が連携した体制を構築。



北陸圏全体の観光戦略の構築

広域連携による取組

- 観光魅力の一体的で効果的な情報発信
- 観光まちづくりの戦略づくり研究や人材育成
- マーケティング調査・分析etc

8. 隣接圏域との交流・連携

1. 北陸圏・中部圏連携プロジェクト

(1) まるっと北陸・中部観光魅力増進プロジェクト

◇「昇龍道プロジェクト」等を通じた、多様なニーズに応じた魅力あふれる広域観光ルートの整備による外国人観光客誘客促進

▼「昇龍道プロジェクト」

北陸中部9県の知名度向上及びインバウンド推進を官民挙げて実施。

※中華圏に人気の龍をモチーフに「昇龍道」と命名



台北で開催された旅行博に出展し、昇龍道の魅力を紹介

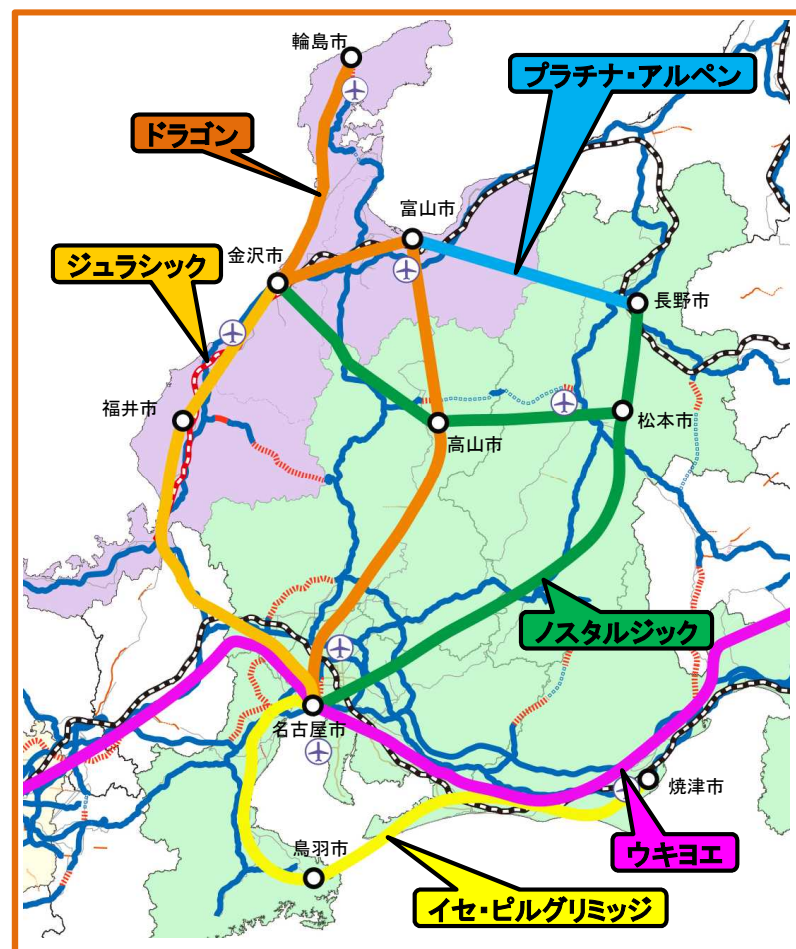


中国の旅行会社を招請し、兼六園を視察

【出典】中部運輸局

▼「昇龍道」の6つの重点ルート

北陸中部の周遊プランを外国人観光客に知ってもらうため、中部広域観光推進協議会が策定した6つの重点ルート。それぞれ2～4泊で回ることを想定し、海外の旅行会社に提案。



▼「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」に三つ星で紹介された観光地

沿線市町村等が連携し「三つ星街道」と命名した広域観光ルートをPR。



【出典】北陸飛騨三つ星街道誘客推進協議会HP

1. 北陸圏・中部圏連携プロジェクト

(2) 広域物流ネットワーク(日本海～太平洋)構築プロジェクト

◇広域物流ネットワークを支える基盤整備

▼東海北陸自動車道や中部縦貫自動車道等の整備・活用

日本海と太平洋に跨る広域のエリアで、戦略的に広域交通ネットワークを構築。



(3) 環白山・環北アルプス広域エコロジープロジェクト

◇野生生物の生息環境や生態系の保護・管理を推進

ツキノワグマやライチョウ等の保護に向けた隣接県と連携した取組。

立山連峰や北アルプスに生息するライチョウ



【出典】「第一期ライチョウ保護増殖事業実施計画」(環境省長野自然環境事務所)

ツキノワグマ
広域保護管理

※白山・奥美濃管理ユニット

ライチョウの
保護増殖

※白内が主な生息域

国立公園をはじめとする山岳地帯における
高山植物や希少な野生動植物の保護



クルマユリ(立山)



ニリンソウ(上高地)

【出典】環境省HP

1. 北陸圏・中部圏連携プロジェクト

(4) 隣接圏域との産学官連携による 新産業拠点形成プロジェクト

◇地域を越えた研究開発・プロジェクトの組成に向けた、 産産・産学のマッチング

▼研究開発から生産・加工・組立までを行う世界に冠たる複合材料の一大拠点・産業集積の形成を目指す東海北陸連携コンポジットハイウェイ構想

地域公設試験場等と協力し、中核となる研究開発拠点が産業界の多様なニーズに応える研究開発・人材育成のプラットフォームを提供。

【中核となる研究開発拠点】

- ・名古屋大学ナショナルコンポジットセンター
- ・岐阜大学複合材料研究センター
- ・革新複合材料研究センター(金沢工業大学)

(各圏域の強み)

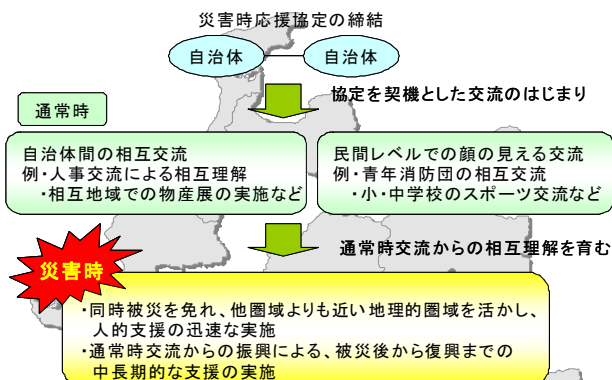


(5) 広域防災・災害応援ネットワークプロジェクト

◇防災ネットワークの構築

▼広域防災・災害応援ネットワークの構築イメージ

自治体間の人事交流や民間でのスポーツ・文化交流で相互理解を深め、自治体間での災害時応援協定に基づく強固な災害応援ネットワークを構築。



広域防災・災害応援ネットワークの構築



検視・遺族対応訓練
(広域緊急援助隊刑事部隊)

▼ドクターヘリ共同運航事業(富山県、岐阜県)

飛騨地域の重篤患者の搬送に、富山県のドクターヘリを共同運航する協定を締結。



従来より、到着時間は最大30分短縮、飛騨地方の救急医療体制を強化。

【出典】岐阜県HP

▼緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練の実施 (平成26年度、珠洲市における開催時の状況)

緊急消防援助隊中部ブロック派遣隊、防災関係機関等14機関約400名が参加。訓練は、実際の大規模災害現場を想定。現場での情報収集、消防等との連携を確認。



土砂埋没現場からの救出救助訓練
(広域緊急援助隊警備部隊)

【出典】石川県HP

8. 隣接圏域との交流・連携

2. 日本海沿岸地域の連携推進プロジェクト

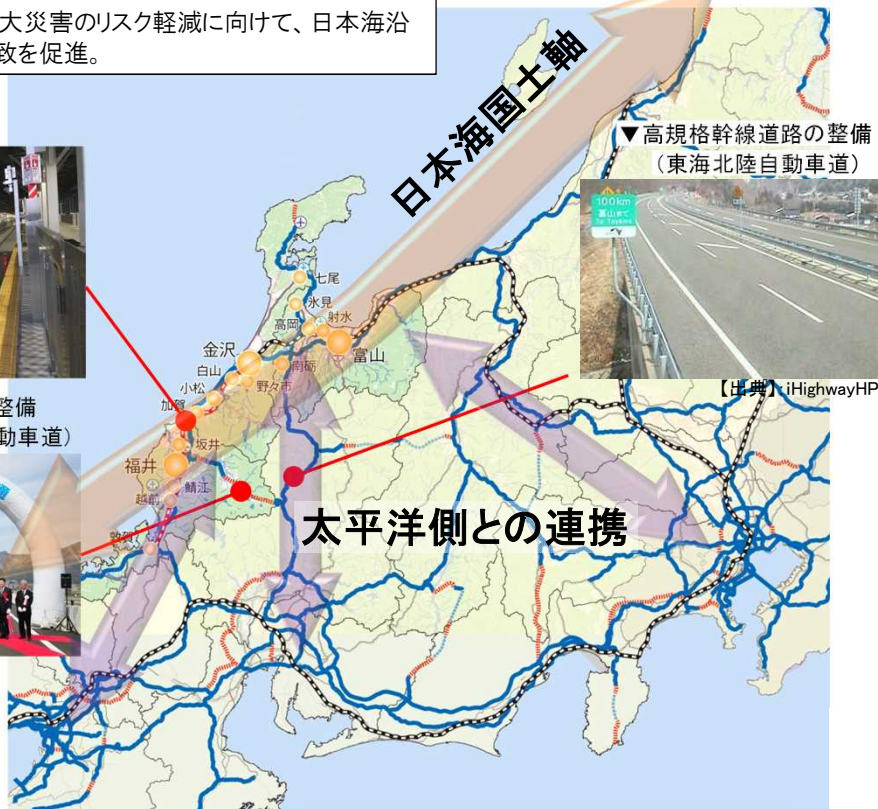
◇日本海国土軸の経済発展を支える広域交通網の充実

南海トラフ等巨大災害のリスク軽減に向けて、日本海沿岸への企業誘致を促進。

▼北陸新幹線の整備



▼高規格幹線道路の整備 (中部縦貫自動車道)



▼高規格幹線道路の整備 (東海北陸自動車道)



【出典】iHighwayHP

◇ユーラシアへのゲートウェイ機能の強化



◇エネルギー受入・供給拠点やネットワーク機能の強化

▼海洋エネルギー資源開発促進日本海連合の取組

海洋エネルギー資源の開発に関する
・情報収集
・調査研究
・国への提案

【出典】海洋エネルギー資源開発促進日本海連合HP

3. 広域防災・観光に向けた隣接圏域との連携プロジェクト

◇広域観光ルートの構築

北陸新幹線の開通等を契機に、長野県や新潟県を始め隣接県と連携した魅力ある観光ルートの構築等、三大都市圏や海外からの観光客誘致に向けた取組を強化。



【出典】みんなで作る新北陸マガジンHP

◇広域連携による降積雪対策の強化

平成26年2月の山梨県や埼玉県秩父地方といった小雪地域での豪雪をきっかけに、豪雪対策の経験・技術・機材等を豊富に持つ北陸圏からの隣接県に対する広域的な連携・支援体制を強化。

